838
297
116

村上　松本　久世　大町　井上　石谷　二王子　竹

大谷　金子　不破　小島　三宅　下條　瀧石　市

田村　岡部　蜊江　結城

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

相州鎌倉郡山林郷鶴岡八幡宮若宮之社職禰宜大伴氏系譜

地紀　改暗屋

敏　梅鉢　改牡丹

人皇十四代仲哀天皇御宇大連大伴健持連ヲ始テ此時也

元年正月天皇即位冬十月詔大伴健持曰朕不及弱冠而

父王即崩々延元年崩御国君ヲ自宅時書ク曰

大伴皇子　第四ノ人主三十代欽明帝第九皇子也此時朝有国君

大友皇子　大友皇子故皇子祖立又ハ立ル法知帝謂曰

大伴故遊大子年来後曰伴ヲ

大友皇子　人主三十九代大智大皇第二皇子也伊賀皇子ヲ

大内臣海氏ノ祖白鳳元年謀反国ヲ於江州頓田

而與天武大皇子遂敗北死ヲ廿六歳

紀陽ノ大友ノ皇子此事ヲ命後ノ人系也

相岸信輔氏寄贈

昭和八年寄贈 帝国図書館

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

傳曰人王八代孝元天皇四代孫武雄心命男武内宿祢其子
也稱宿祢十九代後裔

古麻呂　正四位下大伴宿祢

人皇四十六代孝謙天皇天平勝宝二年己酉九月為遣唐副使
同六年甲午四月任大納言　紀　後我　平郎　高成　巨勢
樫井　之浜成　此人者氏武内宿祢之祖也

継仁　正五位下
延暦十四年四月任右大弁

国道　従五位上
成人者歟

善男　大納言
貞観八年閏三月應天門焼亡
遷新造一等下而伊豆國被造院

中庸　従四位下
弾正尹二年二月歳人者歟

春雄　従四位下　元慶三年二月任宮内卿
同八年正月六位伊勢守

忠行　従五位上
昌泰三年正月任左兵衛

右職　従五位下
承平六年二月任大膳進

清廉
天暦三年任伊賀守

輔仁　左位中将七月任後参
民部卿　同門

保右　従五位下
従五位下

仲信　陽明門

為国　長保四年二月任丹記

佐親　従五位上　治安四年任左少史
万寿二年轉左史　長元五年正月紀伝
長久三年正月九任豊前守　康平四年八月
十六日任日向守　同五年二月八日於豊後国
死

- 定義　貢寺　從五位下宮内　治安三年十二月任貢寺
  - 長久三年正月任郡司主典　寛徳三年四月介知爵
  - 廣貞　史　駿河守　延久三年十二月任左大史　同三年十九知爵　日吉行幸
- 廣親　史　從五位下　兼主計助　歩廊寺
  - 廣盛　主計助
    - 定親　史
  - 寛治八年六月任左大史　嘉保三年正月任左史　康和三年正月知爵
- 廣信　史
  - 廣重　史　從五位下　中宮大進　史　從五位下　肥前介
    - 廣海　史　從五位下　肥前介
      - 海重
        - 海基
- 廣季　史
  - 廣義　平元
    - 長元三年宗三位　肥前守永承三年十月任左大史文治元

- 定俊　書博士
  - 紀俊　書博士
- 定通　史　從五位下　長元九年七月知爵
- 實義　從五位下
  - 知貴　陽明元大住史
- 實盛　書博士文
  - 傳盛　肥前守
- 廣盛　史　右馬
  - 盛經　民部元
  - 盛重　文章元
  - 盛長　文章元
- 成俊　左兵衛尉
  - 俊宗　兵衛尉　陽明元　童寮　陽明元　内蔵人
    - 俊貴　史元右馬　式部丞
    - 俊貞　内蔵人
- 知宗　陽明元
  - 知康　史　山城守
- 正信　筑前守
  - 正廣　右京進

通方 主殿大属

正方 主殿支 仁延二年正月任中元元大属

清方 主殿大属 永安二年正月轉光元

負方 主殿光元 仁安三年任権大属

信方 主殿光元 永安二年正月三位光元

安二年正位大属

義方 主殿光元 從五位下 同門

修方 永安二年正二位 主殿権大属

近方 主殿大支 永元四年十月 位大支

良方 主殿大支 寛元四年三月 位大夫同門

義方 主殿支同門

為信 文保二年正月廿日 叙爵 日吉行幸行支賞

為尚 從五位下 從五位下

信廣 左衛門

弘綱 弘安

為賢 修理進 中宮人 嘉平

近輔 出羽

為言 左衛門 言重

為尚 豊後守 信弘 石見

為尚 從五位下 主殿光元

義方 主殿支 文永三年三月任支

時方 主殿支 主殿光元

寧方 弘安年 四位大支 弘安十年三月 位大支

寺方 主殿大支 永仁元年任光元 同門 仁安三年二月 叙爵

忠國 対馬守 主殿大支 正四位下 中務大輔

在成 甲六年高弧元年十月十日卒

治承四年十二月移勅使請 八幡宮於小板郎時仁走湯

山事光仁遣向別書以大伴中務大輔清光為神職之主事

仁安元年清時為宣命使以大原平大日孝義令執行神事奉祀
之次第
毎年公私源武御社参献神馬以四月初日奉幣之祥日定了
文治二年四月源武御社参之刻以自書自判社職之書札焼之
了

信時　主殿允
仁安二年十二月廿六日
右馬頭嘉應元年十二月
任左兵衛尉

寺貞　主殿允
永仁三年任下
同門
白基　廉嘉

寺清　主殿允
仁安三年任下
同門
仁安三年任下

寺持　主殿允
同門

寺実　左兵衛尉
寺嘉　左兵衛尉

佐重　右兵衛尉
同年

忠茂　兵庫允
春日

寺康　左兵衛尉
信国　主殿允
有方　正治元年十二月任主殿権頭嘉

忠茂　正五位下　主殿允
実方
嘉祿三年二月六日補宣旨蔵人蔵人所雑色
別当　同日六日年七
嘉祿三年光明峰寺関白左大臣藤原道家以執奏状知行下
旨蔵人宣旨四条宮自今以後以勝長寿院大仏寺氏
立為社用役信濃永政也仍社用役改社用役可行由也
同年十月廿四日新嘗祭幸御禊之次令後号三条殿
御禊了神主宣命使御所相傳唯授者二人之号也

経忠　従五位上　宮内大輔　後土御門

文永二年七月補當職建長六年始出仕行職九年
同十二年八月辛酉年四六
文永七年三九社務大納言俗隆卿神主兼卿任忠立命後
仁王大夫法清鶴岡別当定清

女子

有忠　元亨　十八歳時行神職列祭後當社無量光院
三代の後成元應三年七月同山の公家年寄
于他所院伊量阿智得上人

忠行　従五位下治部卿　文永十年　丁酉三神當職
右脇七年　弘安二年六月十五辛巳三十二

女子

政経　新宮司

時紐　元春子

行綱　従五位下宮内大丞　茂時　十四

時綱　従五位下　中務大輔　弘安二年十二三神當職
永仁六年十月　従五位上應長元年任春日祭使

国連　太宰　従五位下　山城権守
應長元年知爵　元徳三年辛巳三十歳

高連　五位左兵衛尉　元徳三年辛巳三十歳

国高　従五位下　時人　延文二年二月六日安倍春子
大炊頭　貞和五年三月卒

忠行　大炊介　三位文

時貞　成人之御　文亀五年九

女子　千代君

泰氏連

武宣賀

女子　千代松

女子　拂寿

時國　武松丸　従五位下　山城権守　元徳三年藤山城寺御崇敬

存命　正平七年六月卒六月三

時長　中務権大輔

忠清　武松丸　主殿助　存命文三年

應永元年十二月二十卒四

能貞　直勝坊　二位阿闍梨　於西南院灌頂

御所殿司　明徳四年廿九四月三

覚貞　直勝坊　二位僧都　應永廿年九六月廿三日

ゝゝ　伊豆直助　御下文

快能　大別当　武法眼　康暦三年卒

時連　武松丸　四郎左衛門　山城守　應永三年二月廿六日

應永三年二月廿六日　従五位下　応永三年

新太郎　文

泰氏連　長千代　金剛丸　明徳三年　二十二歳　権大夫　応永年

女子　千寿丸　応永年

時清　新三郎　応永年

持時　武松丸　新太郎　正四位下　山城守　相州住寺　貞臣刑部卿女

妙性寺　持氏公子　在位五十三年　寛永廿二年始在土岐

文明十三年八月廿六日　寺伊光明寺

彦千代丸

時信　太郎　左馬頭　左馬頭五十六年　寿五十四　寺相州鎌倉住

母　貞臣氏女　文明十三年　寿七十七　寺同

天文廿年七月七日　寺同

彦千代丸　伊豆守　信濃守

信親　母　美濃守

公時　長尺　従五位下　山城守　在位三年　天永元年

母　豊後守従五位下伊勢守貞親女

天文十六年丁巳九月廿二日　寺同寺　文明十八生

大蔵三年丁未十五歳　年十三生

武松丸　早世

虎千代丸　伊勢守貞親養子　義政

千寿丸　内記正義長

時孝　新太郎　山城守　文禄三年生

実子重内仁左衛門義男

実母大伴山城守時信女

出仕後氏康厚遇功炳貞京大夫在位廿五年

彦千代丸年三月九年八月三日寺同寺

母武田下総守時孝女　文禄五年四月十六日

時仏　新太郎　国書　修理亮

母

時成　太郎　為信　山城守　従五位下　改清元

世時　元和元年五月大坂役死　内匠頭　元和八年成立　慶長十九年

時定　新太郎　在職十年　元和六年五月九日二十八歳同寺　文保三年

清道　世阿弥　能楽の祖　永享二年九月三日死去同寺　慶安九年

尊元　鶴見山供僧　我覚院

元良　多川掃部　文永九年五月四日往生院尾　子春曜院心月志白大居士

女子　同宗源大姉次妻

清道　彦千郎　九郎　従五位下　図書頭　右隊門督　文永九年

女子　子葉内膳亮伯妻

好時　新太郎　九郎　志摩守　母尸丹出雲馬助女　在職廿五年　元和六年百十二歳同寺　文永九年

女子　多川八郎　妻

宗秀　彦次郎　早逝

女子　関部忠助　妻　後妻　伯耆長福寺生子

女子　南度道重秋

宗為　鶴岡山供僧覺院　始走湯山般若院子
子　仁平二年家四月廿四歿九十歳
清賀　始尾山西寺
中子　西乘僧都支
四子　沙門法空　西生氏　智大輪岡

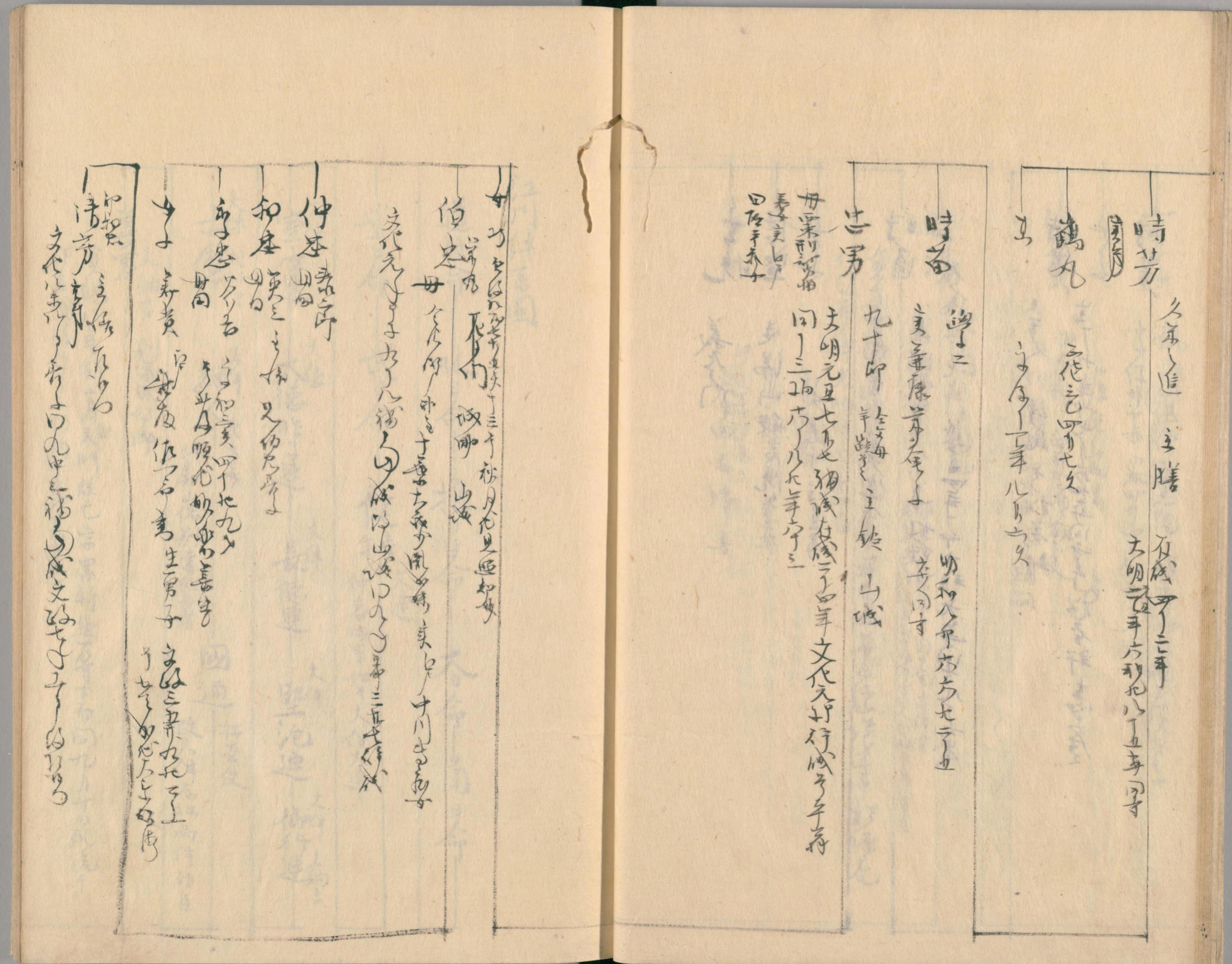
定清　左衛門尉　主殿助
実　肥後守氏子　稲毛者子医者子面子竜之子者
実子　四郎兵衛尉三郎左衛門尉子子子子馬文書有
後改称浄光明寺子定白
子　定清寺
子　大庭周英寺
子　[illegible]　[illegible]

吉悦　義氏
信盧　走湯山般若院子
子　少僧正時直寺

時直　向寺　少僧正
実　肥後守氏子　寺　好時子
右馬頭七年　修寺四年十月九歳　号八十九歳

時廣　入道人　詩歌　大松谷軒
宝十九年七月九日　同寺於松谷軒志之屋
時芳

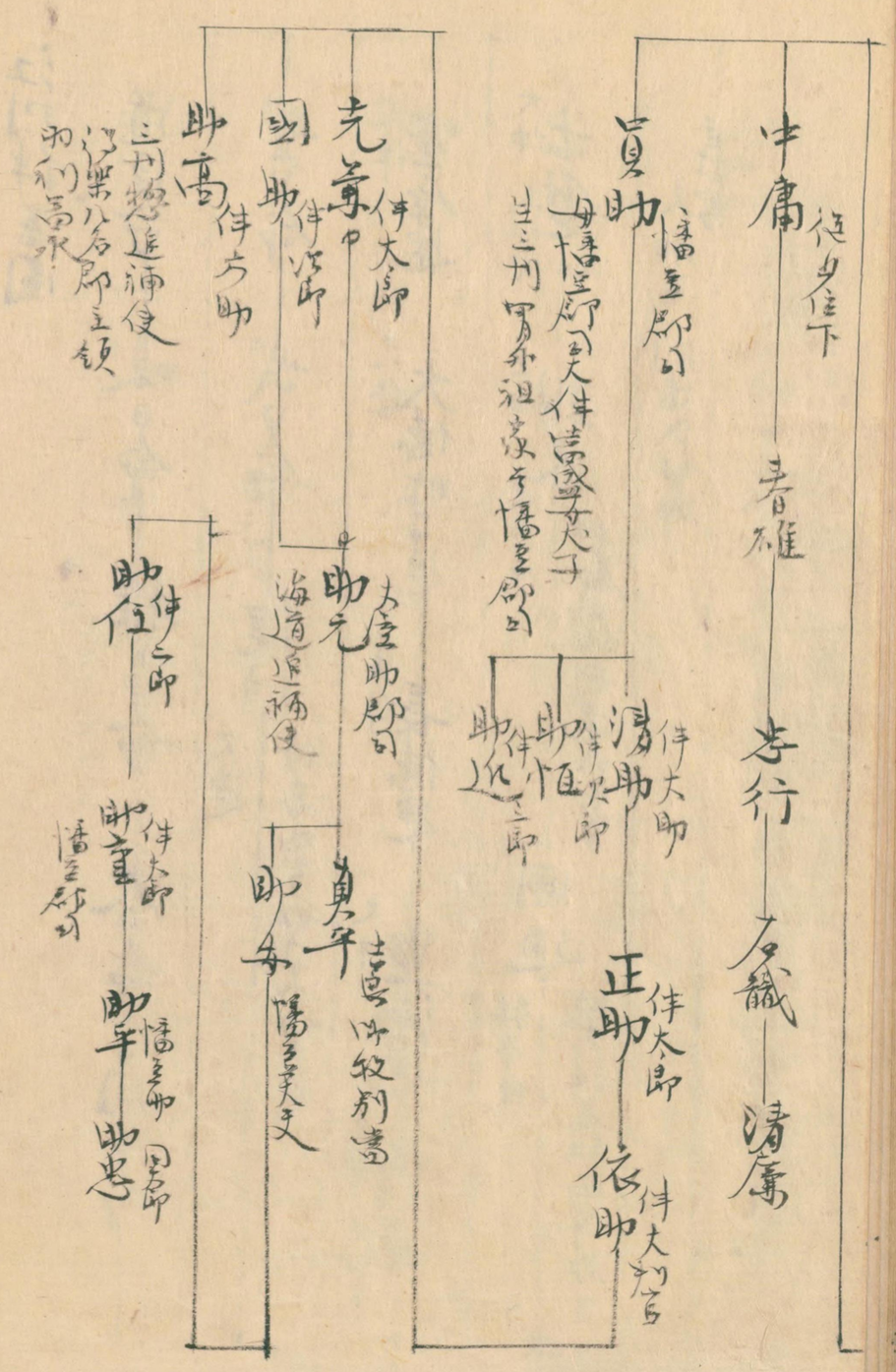
国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

江刑伴系図

- 道臣命
  - 味日命
    - 推日命
      - 大目命
        - 角日命
  - 豊日命
    - 武日命
      - 健持 大連
        - 伊吉博士宅吉大伴大連
  - 室屋連 大伴
    - 大徳 大伴
      - 長徳連 大伴
        - 堅泡連 大伴
          - 御行連 大伴大納言
  - 古麻呂 大伴 武部尺
    - 糸人 大伴 大夫
      - 北廟山佑刑當氏長者
      - 國通 按察使
        - 改大伴石祢為伴朝臣
  - 美豆男 大納言 刑當氏部卿
    - 貞観八年閏三月廿日天門焼亡當罪斬処一等下而同九月廿日配流于伊豆國後迄于二月四日死其典也



相州鎌倉郎山内郎鶴岡山内若宮
八幡宮社官二五大夫出諸

紀氏　本田山城

船寺
従之位
相武方皇延暦七年五月廿子
生殿親王更以方仲言祖従中仲言
始船寺寺加中者

岡寺
大内記

今寺
山城寺
貞観六年山城寺今寺号
初名建君氏寺備四神之
体形寺覚

義寺
従五位下石見守
貞観十五年任石見守

寺貞
主計助

寺廣
史
駿河守
延長四年任右少史

寺史
寺重

重廣
修理進
延久二年任左史図五年右大史

寺僧
生而衆

重僧
陽明

寺俊 西乗

應寺 陰陽允

寺親 服乗

佐弘 陽陽允

寺雅 左門尉

義清 兵部少輔

應清 兵部少輔 従五位下

清廣 兵部少輔

佐清 永記

清仍 陰陽允

仍秀 元亨元年四月任文元

清時 社務 建長四年

左衛尉 二三大文

左衛尉七十四年

治承四年十二月廿八日 平氏焼亡 僧徒蜂起 南都焼亡

以清時為宣命使 長和元年八月十八日 時平卿薨 時平為宣命使 南都焼亡

式法敬位遣 神宮使 南都焼亡

初雪為唯授人宣旨

造社務任 建長三年三月廿三日大風西殿長宮社

文後山門本三年倒 杉宮社 正倒高宮社 西荘 摂社 高殿 復

十別當 宮使 法橋 仍 全二三文 清時 孝行 道

忠清 二三大文

文永七年元社務 大納言 賀茂

陰 神主 陰 行忠 宣命使

二三大文 忠者 當社別号 忠清

了 後白河元年卒

時久 二三大文

大伴山 僧 国 建三方

四 高宮

文 元年卒

忠行 大殿 二三大文

時貞 歳八十所 二三大文

文元元年

子代石

時経 二三大文 大殿

以應八時孔

時直 二三大文

時宗 二三大文

永五年

天平元年

山先代

時行 初度 二三大文 子板置 大殿 二三大文

時永 大殿 二三大文

建七年 三八九卒

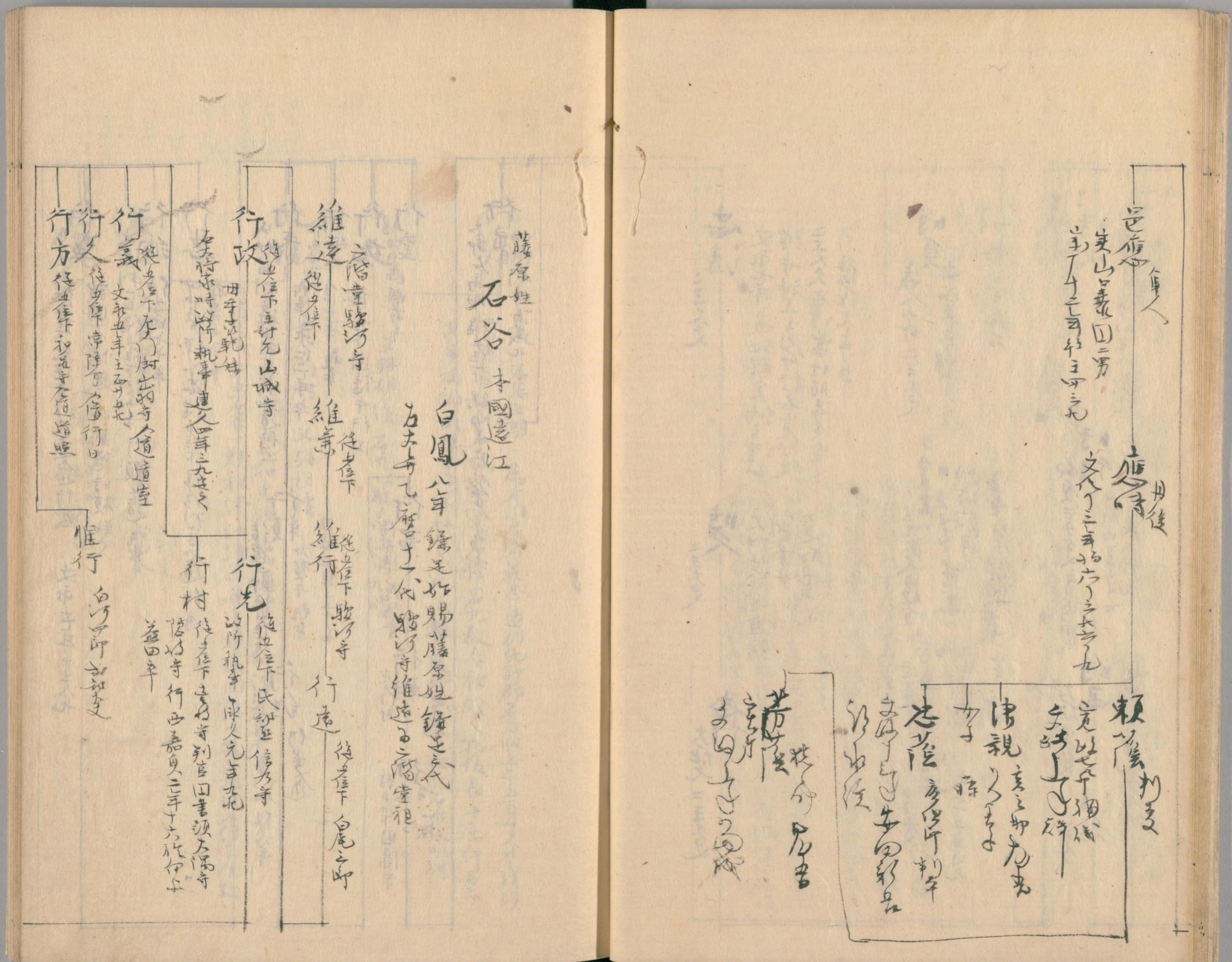
時高 大殿 二三大文

延元三六月九

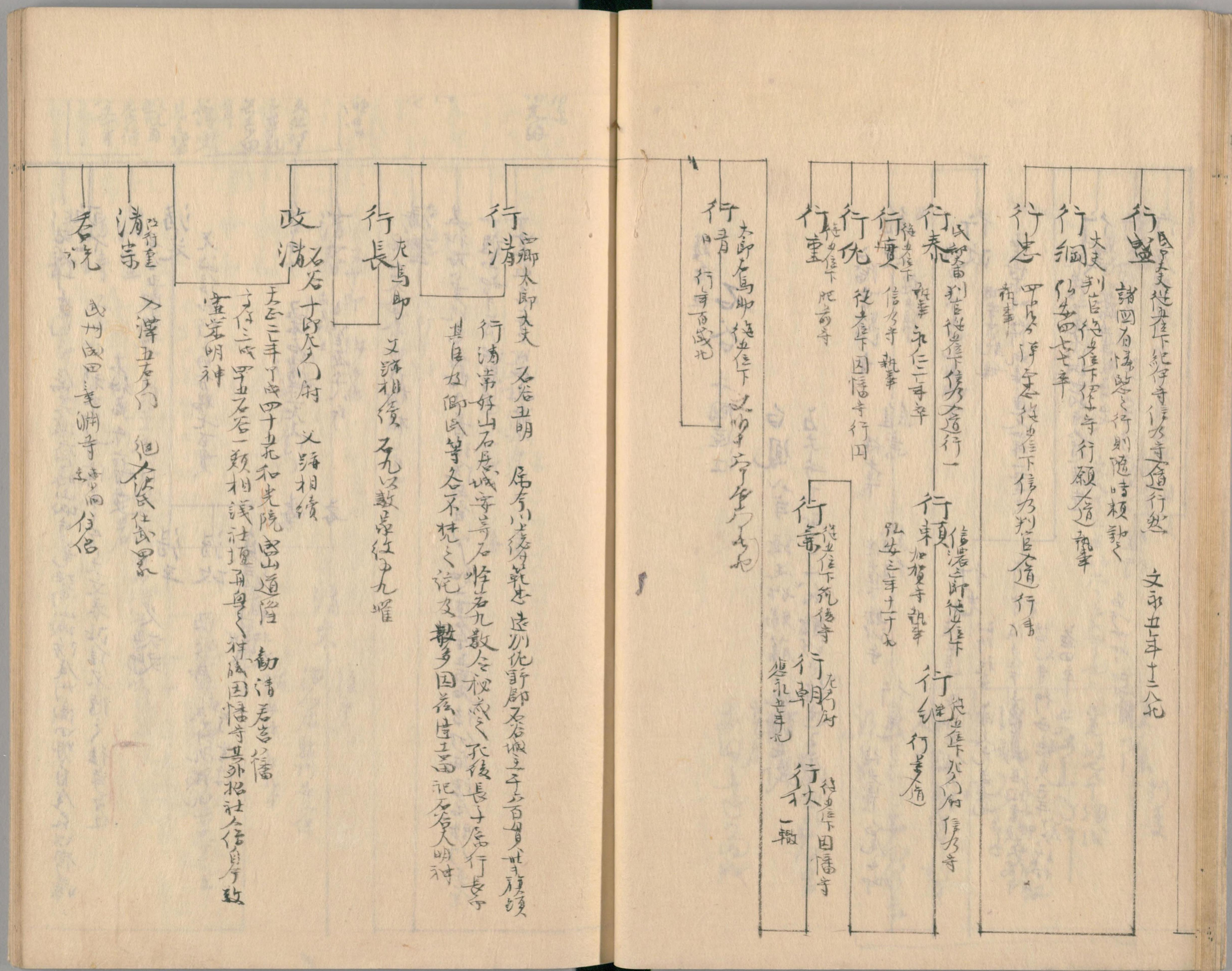
清應 兵部大

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

政信　石谷十郎右衛門　為秀濃尾藤山城守笔頭　新九郎了海年号文亨政信不隠く後年名仕　大神君千六百貫

清定　石谷五郎大夫　元政信知行高方賜七百貫

清平　久大夫

清政　左ゑ門　六十九歳九　宇治

貞清　十郎　五郎

女子　梁原兵左ゑ門　妻

女子　高力清長　小笠原千八郎　妻

清重　石谷又大夫　寺村相　大神君豊院殿御下着後豊院殿御口加二百石合五百石後仍病隠居勝州美作　慶安元年卯正月

女子

女子

女子

政重　石谷清右衛門　元和初往石州五百石

第松浜左衛門　妻

小野田小一郎　妻

清春　又十郎　阿波守　妻

清家　権左衛門　浅野左近将監　阿波守

清勝　日向守　万治三年江戸城西丸普請奉行

清宣　又左衛門　島原一揆同陣十郎次郎　出尾加賀守三百石　行首三級

清時　又兵衛　壬

清村　金五郎　文

政信 石谷十郎門

為秀濃斎勝山城守筆鷲山城防長州藏田野自尾石以斎藤
初九郎了海事と号文亨改信不語と後年在
大神宮千石貢

清定 石谷五郎太夫

兄政信知行高合四百七貫

清平 久太郎 大夫

清政 右之助 六十九歳九
宇治

貞清 十郎 左五郎

女子 藤原重元門 妻

女子 高又十郎 十郎左衛門八所 妻

清重 石谷又太夫 寺村相

大神宮宮院書修所寺番海院殿宮四ノ加二百石合五百石後仍病隠居野州美作
後出家号泥所号
宝永十二年戊申正月十五日

女子

女子

女子

政重 始寺号 泥所左門
宝永初仕石谷四百石

第松 佐沢左門 妻
十郎田小一郎 妻

清春 又十郎 阿波守

女子 高力左衛門 妻

清宗 権左衛門 泥居野州足利住
阿波守 五位

清勇 日 万治三年庚子正月十五日 西丸書院番

清宣 又太夫 島原一揆ノ時十歳阿波守
出尾加賀守三百石

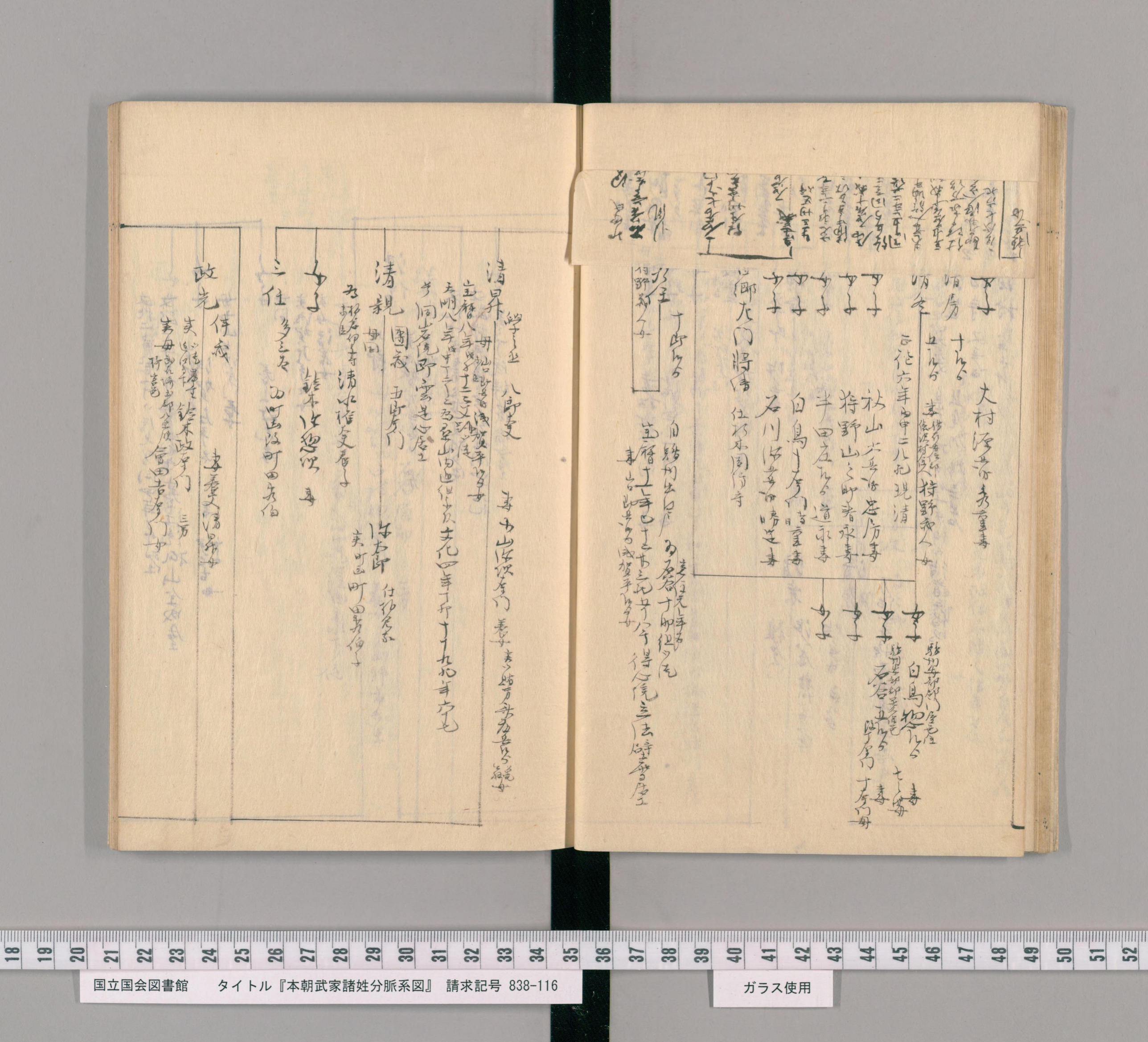
清時 又兵衛 壬

清村 金五郎 又

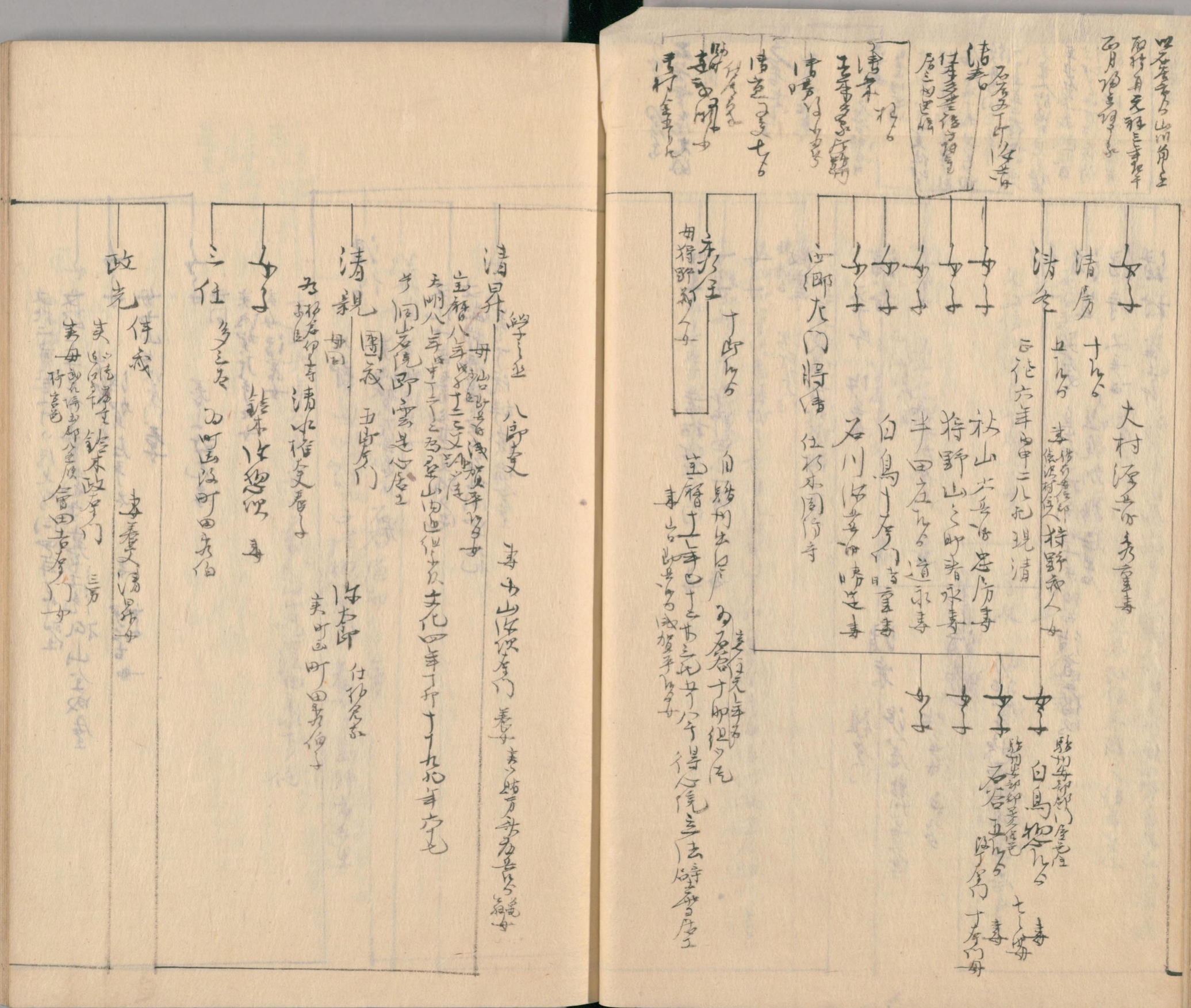
石谷七郎門
生地武州

清義 石谷四郎
生地武州
定利ノ二年乙未仕阿波守
清平ニ与ル 寺号九
居石谷十郎 号三四
仕与ル同三年
同ノ五年三月降西丸
其年大沢海平見之
年五月十郎剃髪
仕ル 万治元年
四月十九日 定年十年
寛文七年九

親長 石谷



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

文化二年此二子ハ清信ノ養子ニ成リ
文政三年巳卯十月二日ニ死ス　江隆孤山全成屋

女　浅賀左平太　妻　伊左古

女　母同　養子　政光　妻

実　浅賀左平太女

実母　清信養女

清信　八郎

実　浅賀左平太　男

実母　清信養女

文化十年癸酉三月二日ニ死ス

文政六年癸未三月十四日ニ死ス

子無シ　浅野内匠頭

光清信養女

榮信　弘御

実　酒井鳥取　石居屋御

実母　酒井鳥取　中村御

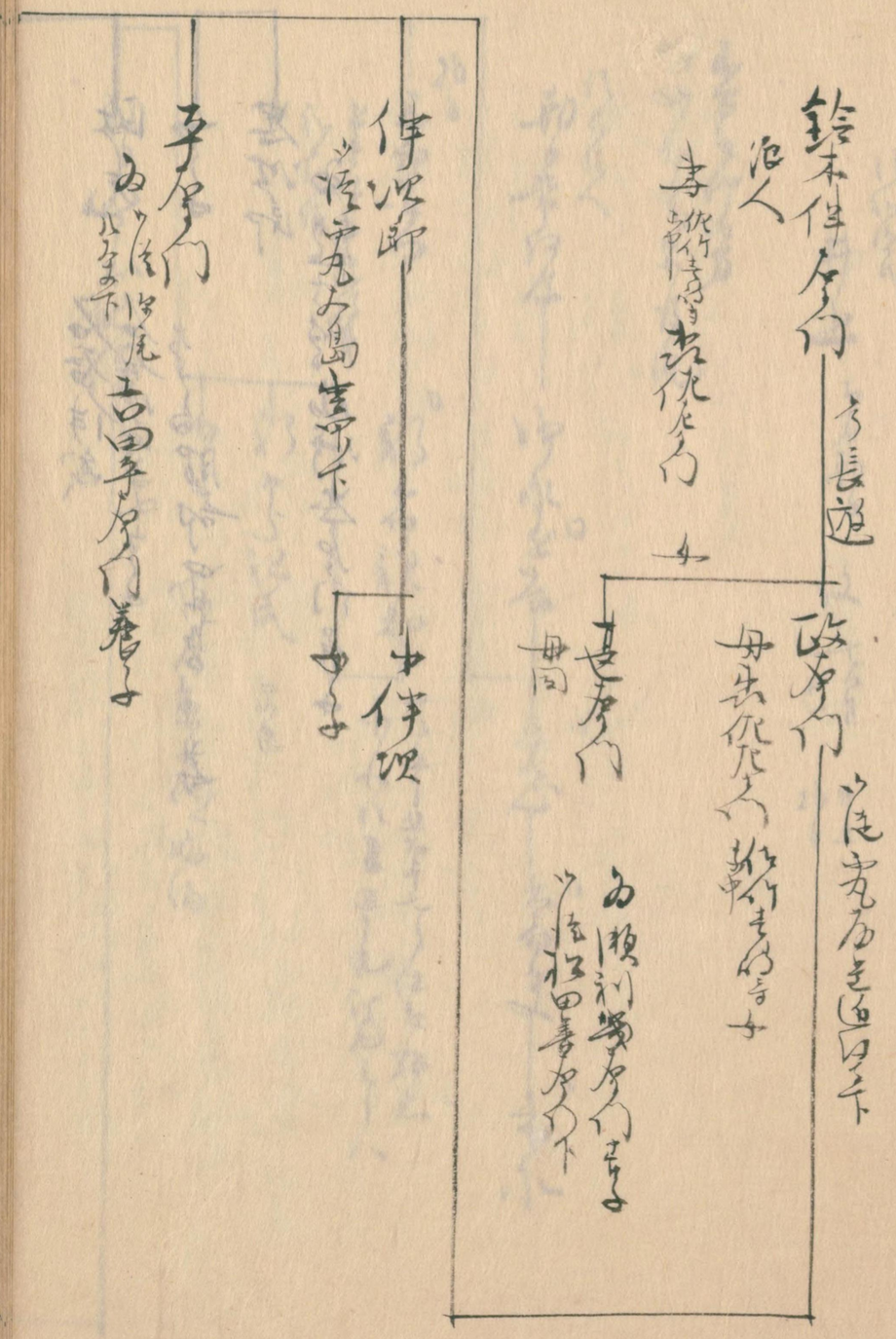
三男

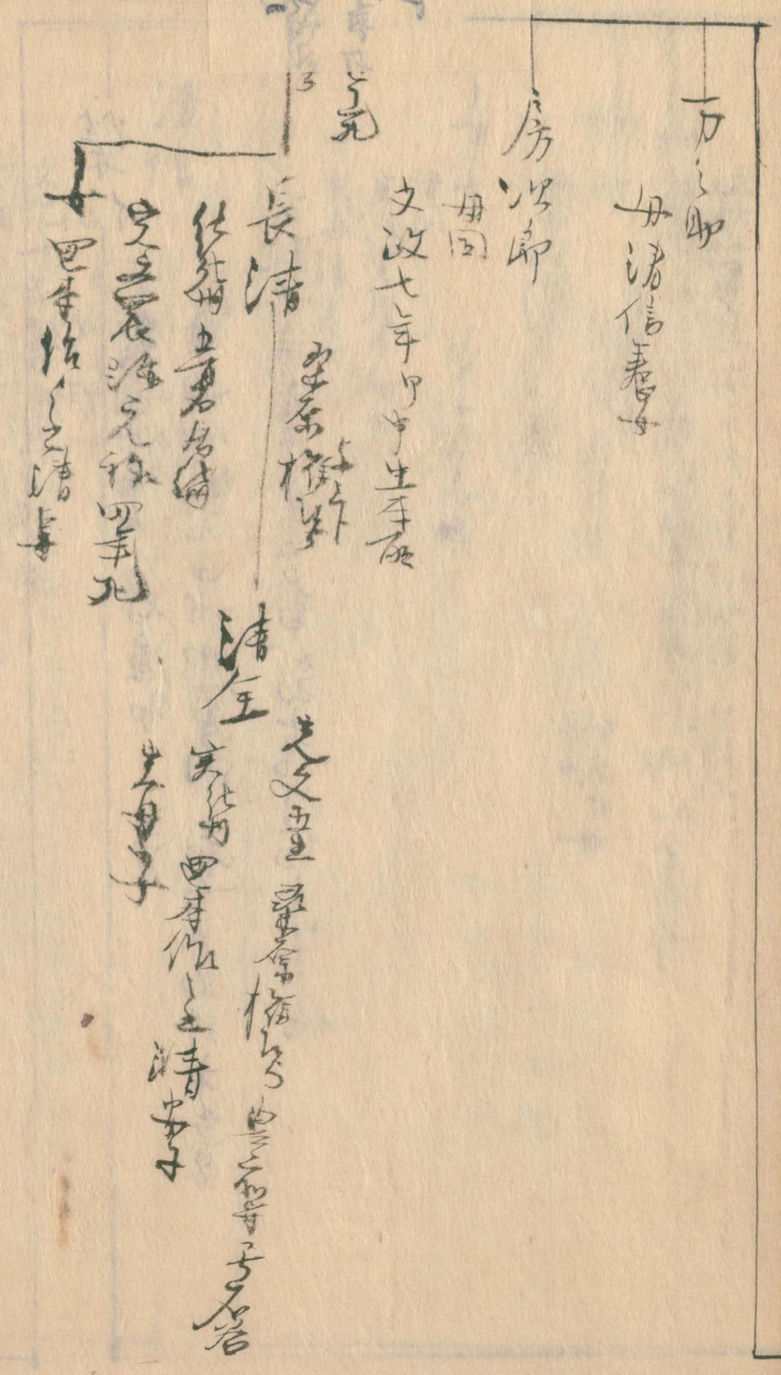
養子　実島野市兵衛

文政六年癸未三月十四日ニ死ス

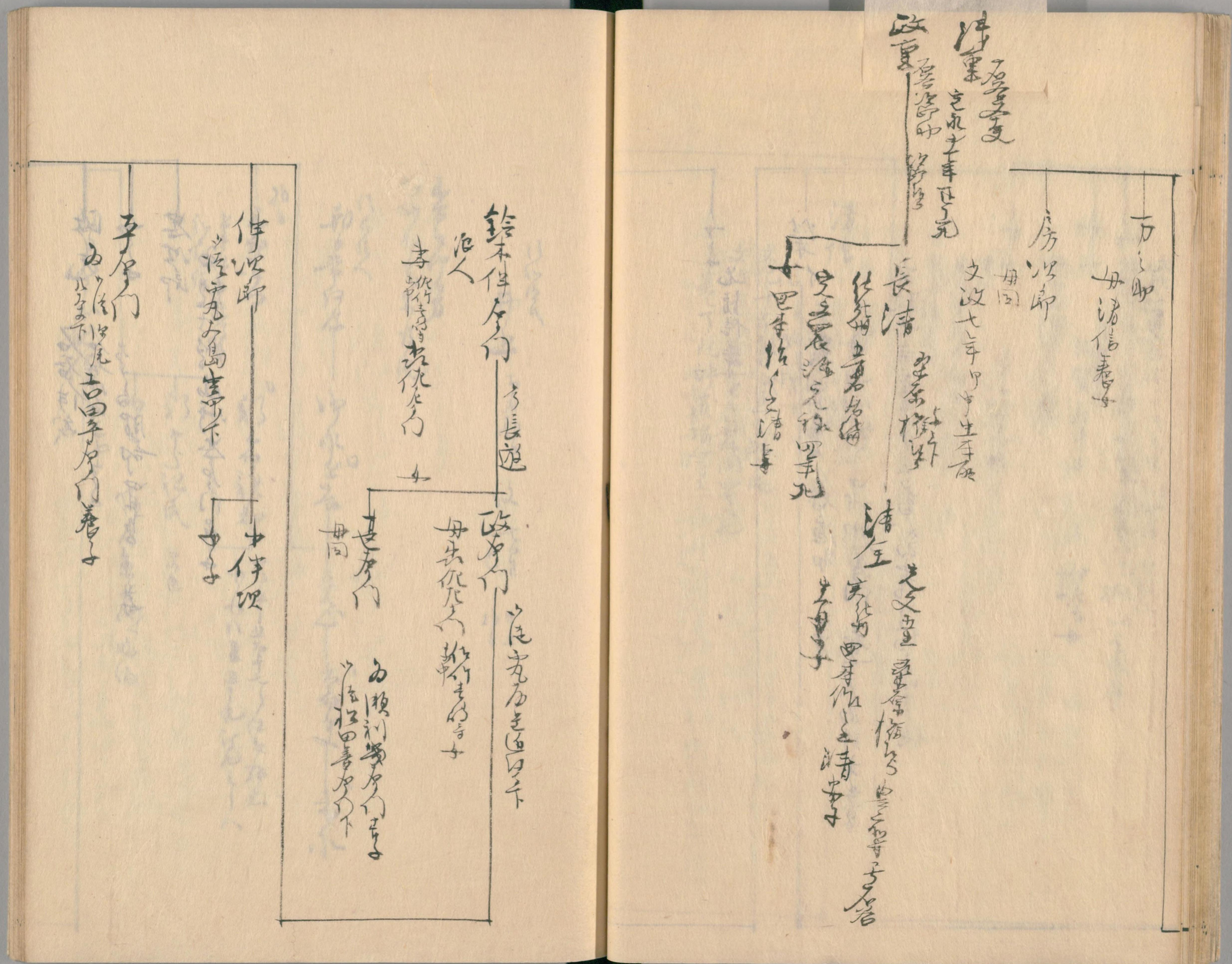
実　政光女

養子　榮信妻

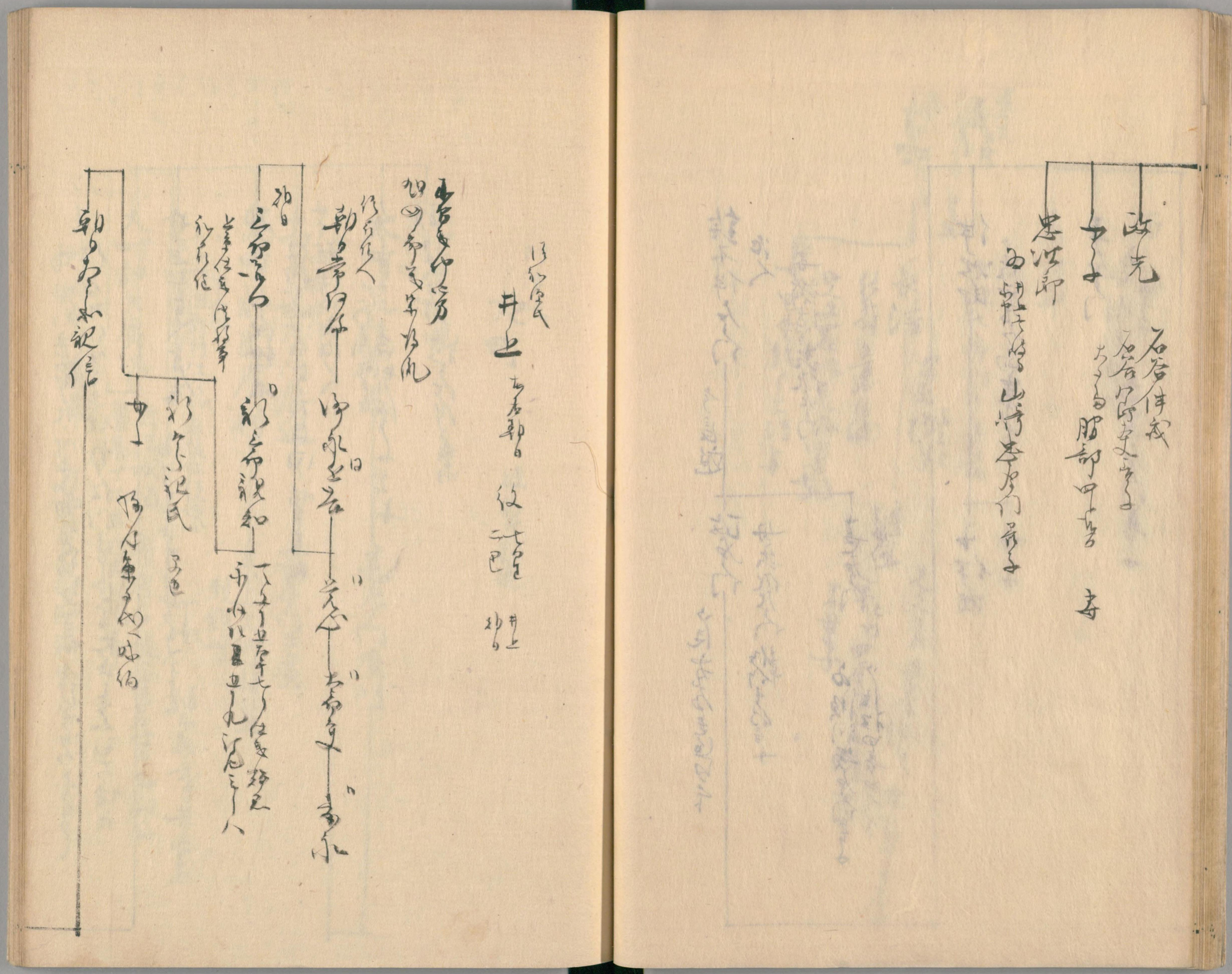




国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

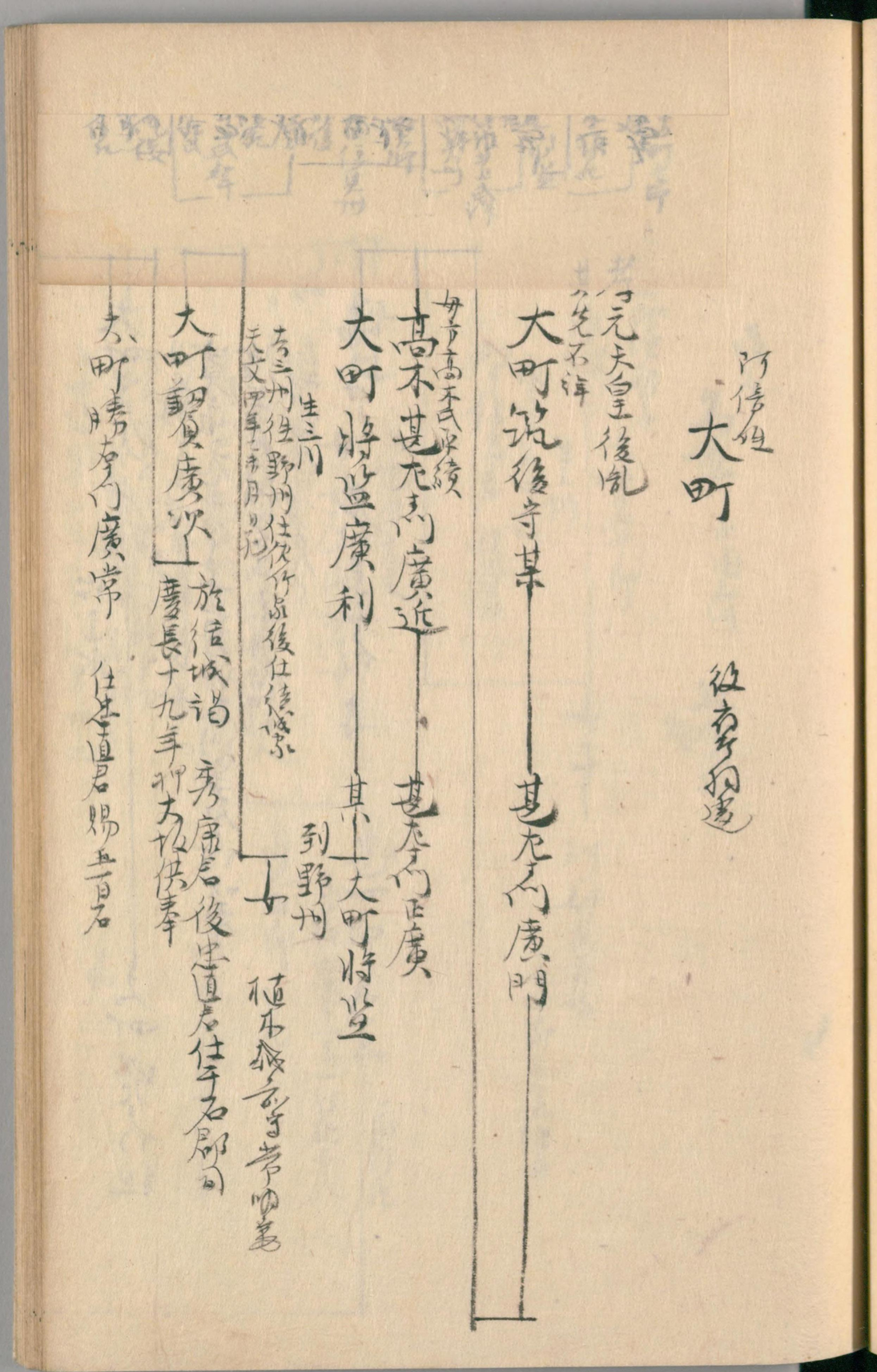


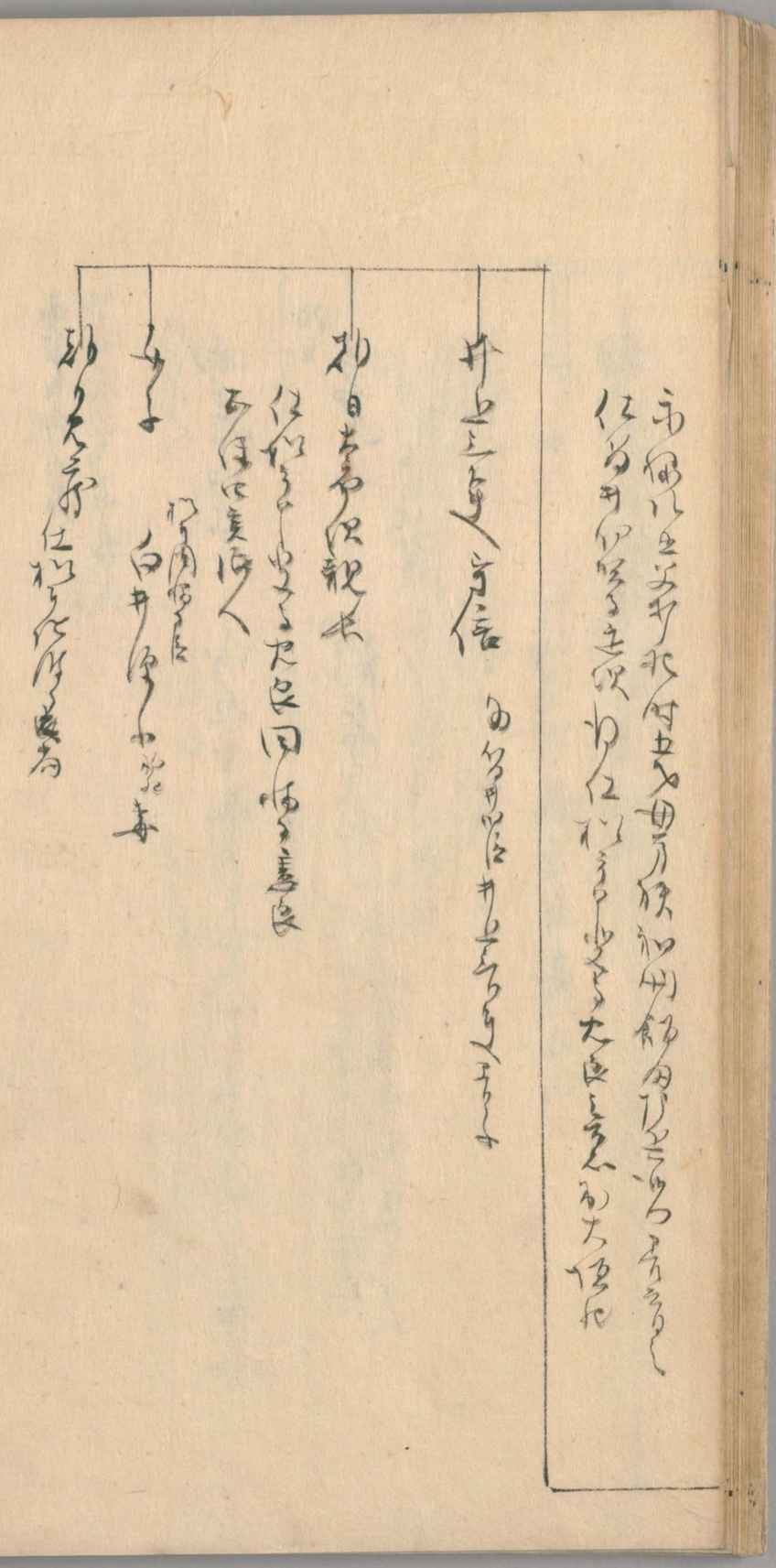
国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用



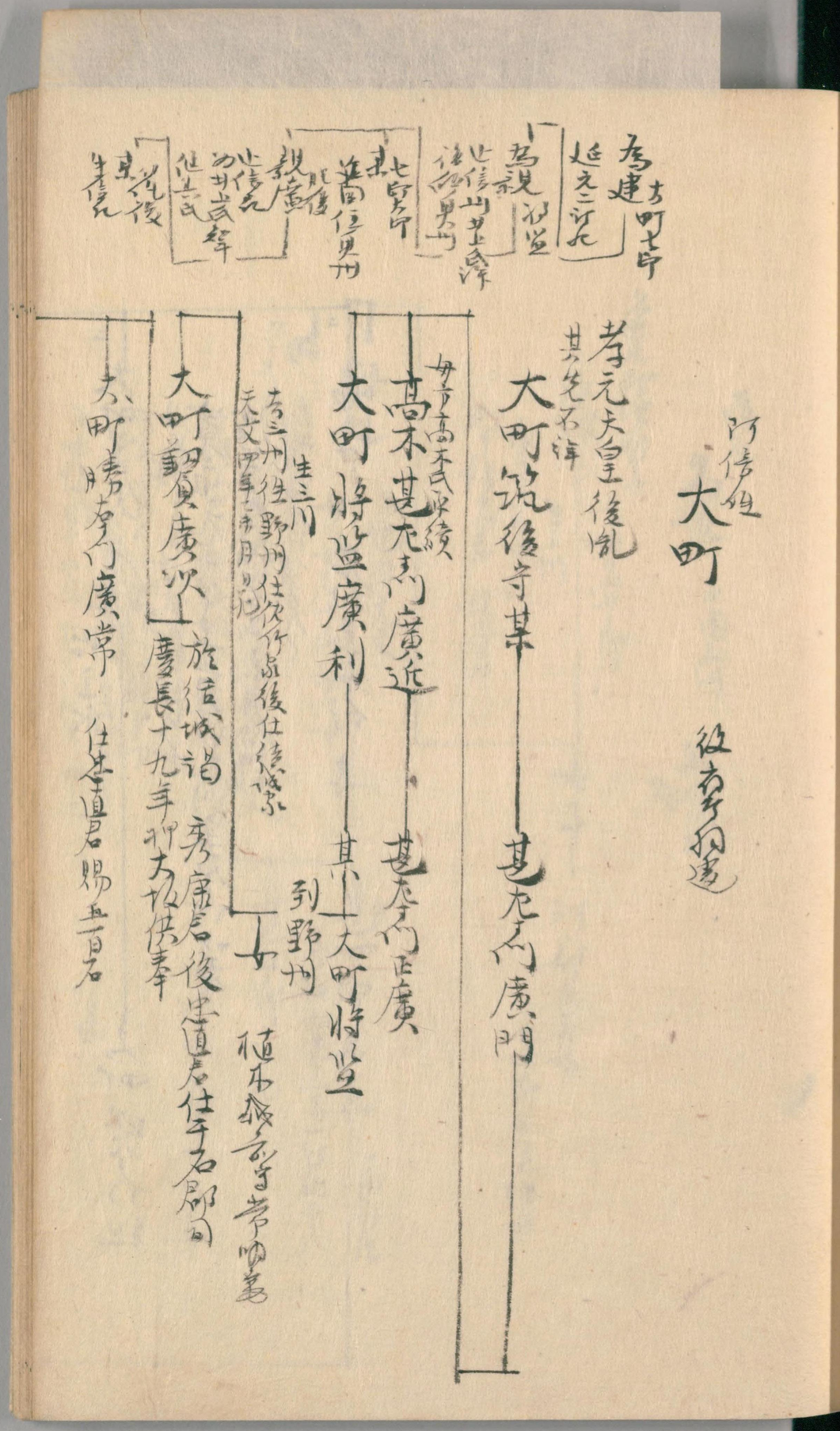
国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用



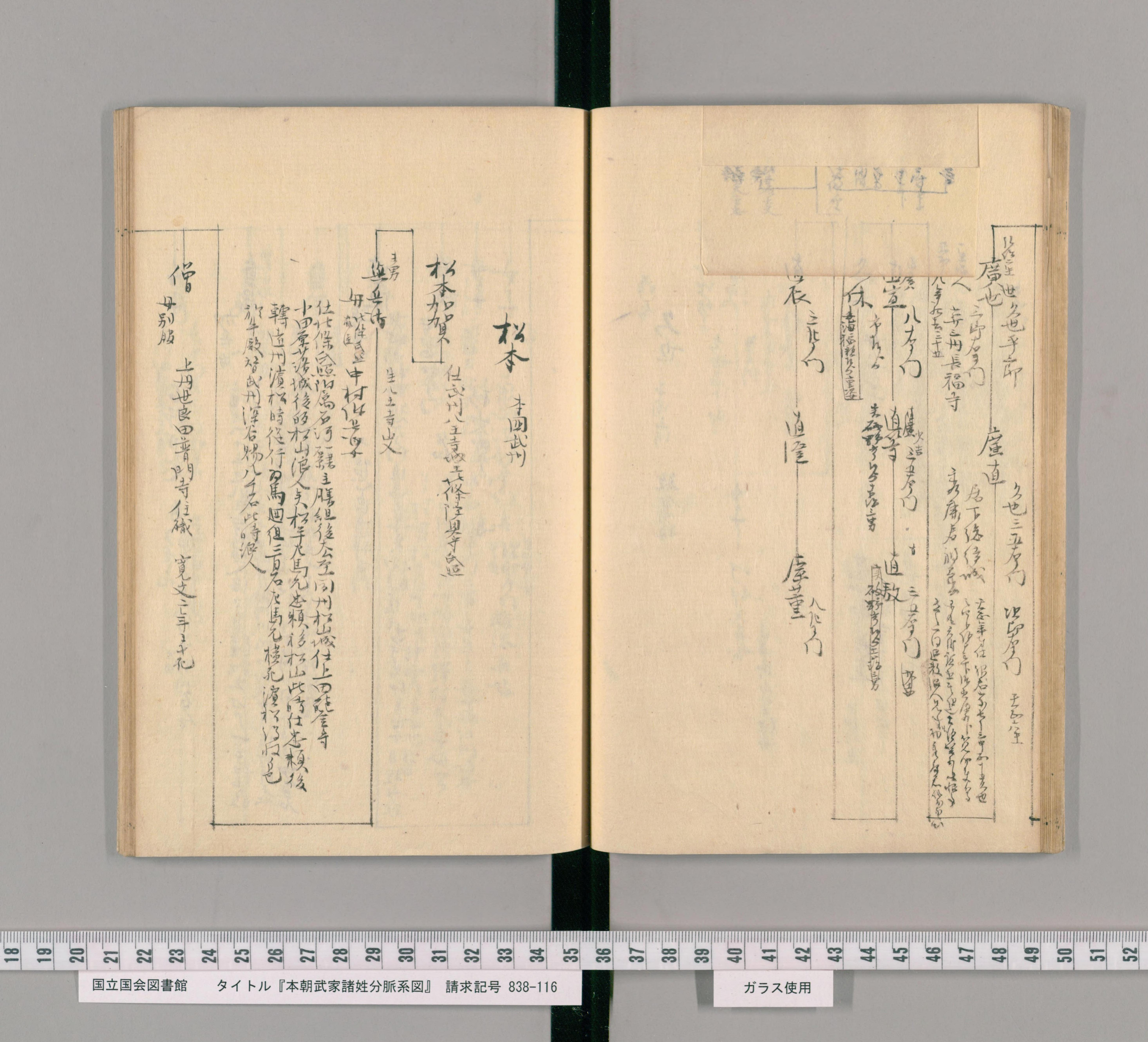


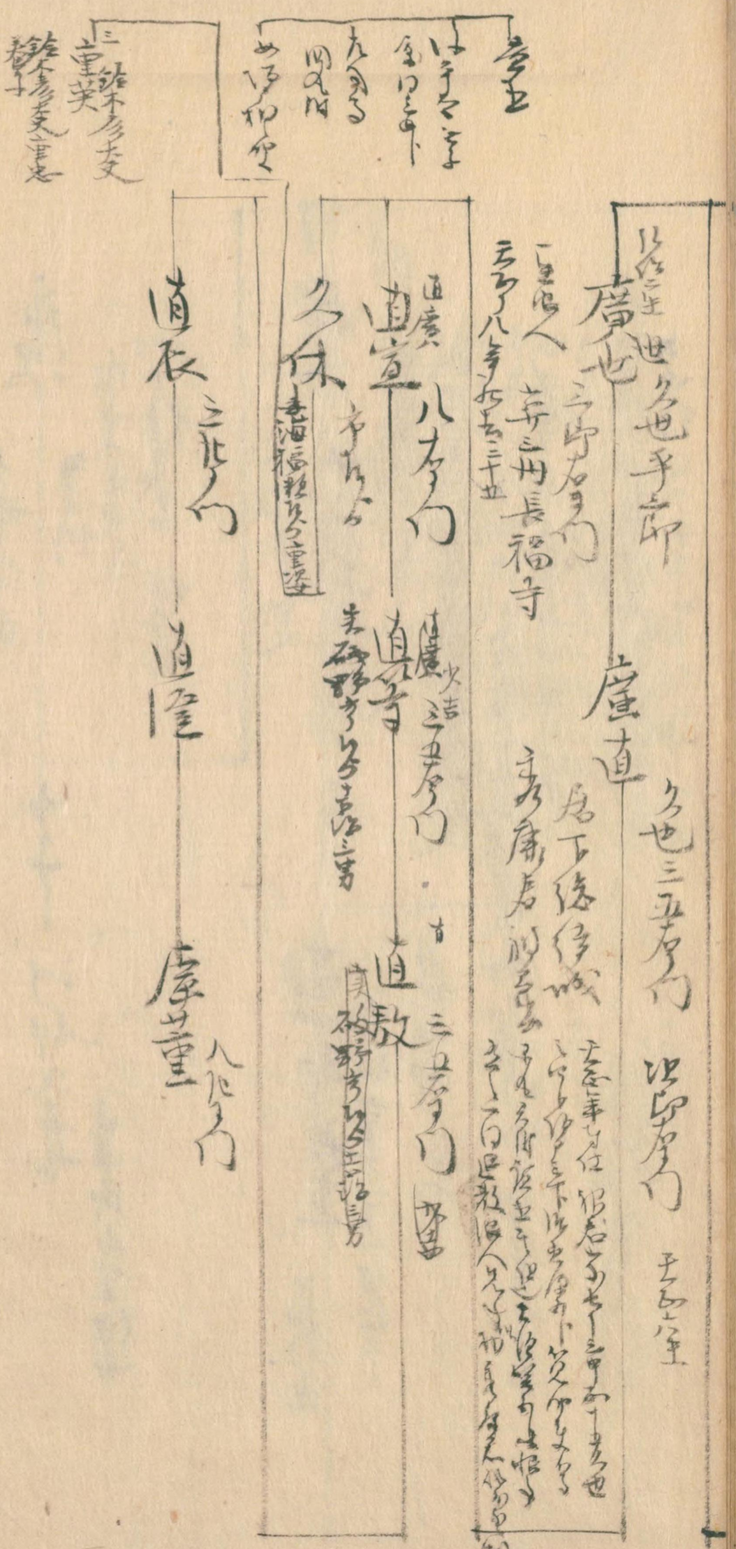
国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
方ラス使用


松本
本国武州
松本加賀
仕武州八王寺城主後徐住奥州会津
主馬
無兵衛
生八王寺出
仕北條氏照
中村伊豆守
仕北條氏照
石河
主膳
組後公至同州松山城仕上田能登守
上田
掌其後城後改松山浪人矢
松平光
馬允忠頼移松山此時仕忠頼後
轉近州濃松時仕行
馬廻組三百石
馬允
馬允
濃松
行
祐年殿
武州深谷
八千石此時浪人
僧
母別腹
上田世良田普門寺住職
寛文二年三十九
名世平郎
廣也
廣直
名也三五郎
世平郎
廣直
名也三五郎
世平郎
廣直
名也三五郎
世平郎



松本

本国武州

松本加賀

仕武州八王寺城主後陸奥守氏照

主男

兵庫

母 [illegible] 中村[illegible]

生八王寺出

仕北條氏照 [illegible] 後公至同州松山城 仕上田能登守

上田[illegible]城後改松山浪人 [illegible] 後

轉住州濱松時從行 [illegible] 馬廻組三百石 [illegible] 濱松[illegible]

於[illegible]殿[illegible]武州淳名郡八千石此時浪人

僧

母別腹

上州世良田普門寺住職 寛文三年[illegible]

女子

石野角之丞　寛文元年　弟之丞人行尾州四百石

貞保　加号

慶長六辛丑生八王寺城攻落々自殺松出口戸一番備藤
石見守元和七年夏大阪川城大仙院中院法印所蔵
住国甲州忠勝寛永十年辰往行于芳州角人後物四百石
延宝四年寅丁卯九年七月六日浅山羽州屋敷

貞恒　道号

母忠勝家臣　林野惣兵衛直昌養女実浅井長政寺　浅井氏印長女　母姉妹伝

貞政　守留賀右衛門　名知

女子　忠勝家臣　杉浦兵右衛門　妻

女子　風

母浅井氏　生三子
三子早世

前田次郎兵衛　妻　浅井氏　生三子
三子早世

雑賀孫市

貞清　加号

母浅井氏　生三子
三子早世

河合　同村全

沼田高島郡中西助兵衛三男三子長女姉口川治郎
次女姉田理右衛門次女姉同所澤村民三郎
澤田村男松本左衛門夫中雲彦兵衛也

貞保　伴内　生文亮

実加藤伊予守家臣治兵衛光寛三男

貞幹　加号

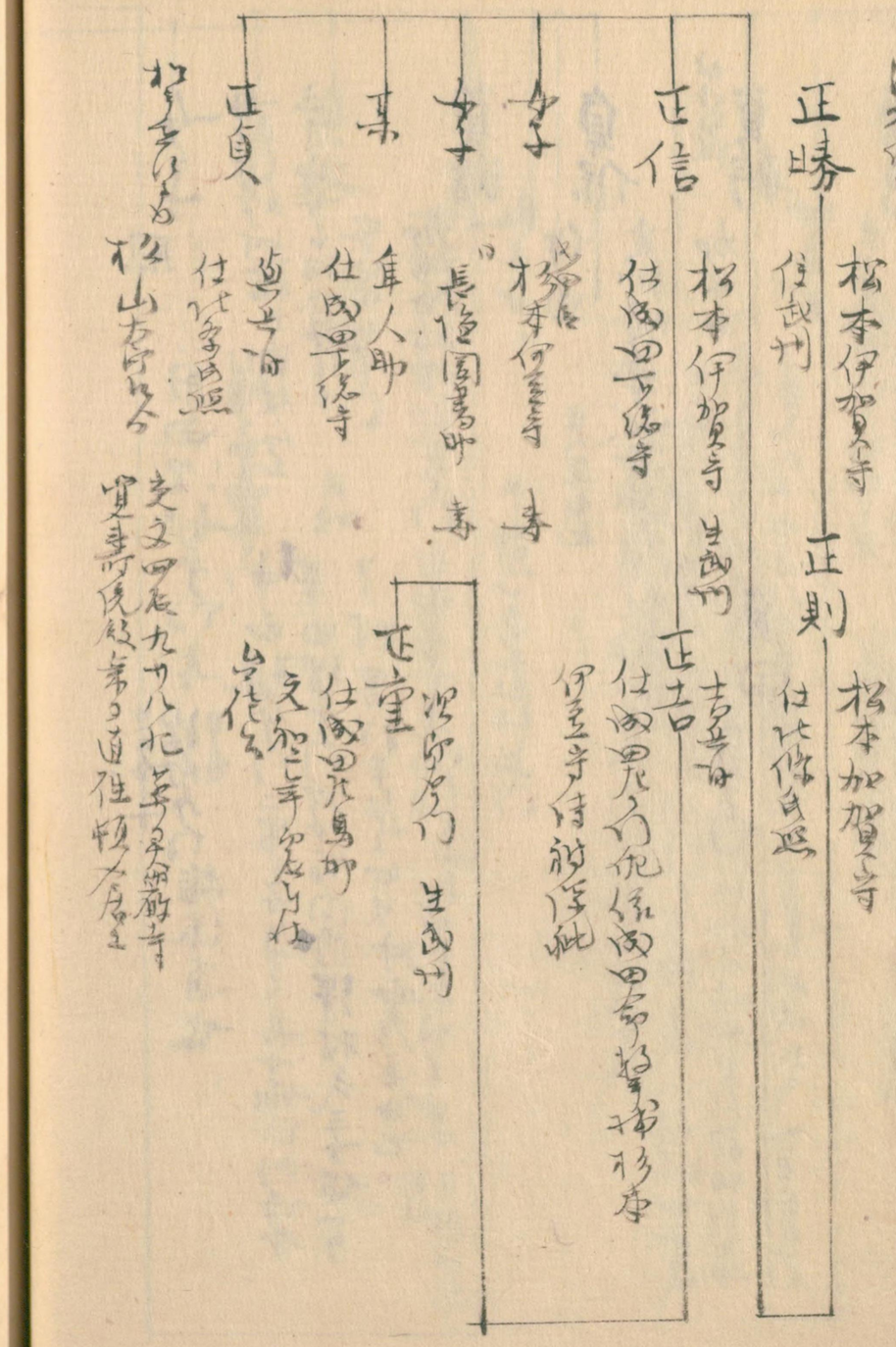
妻浅井氏

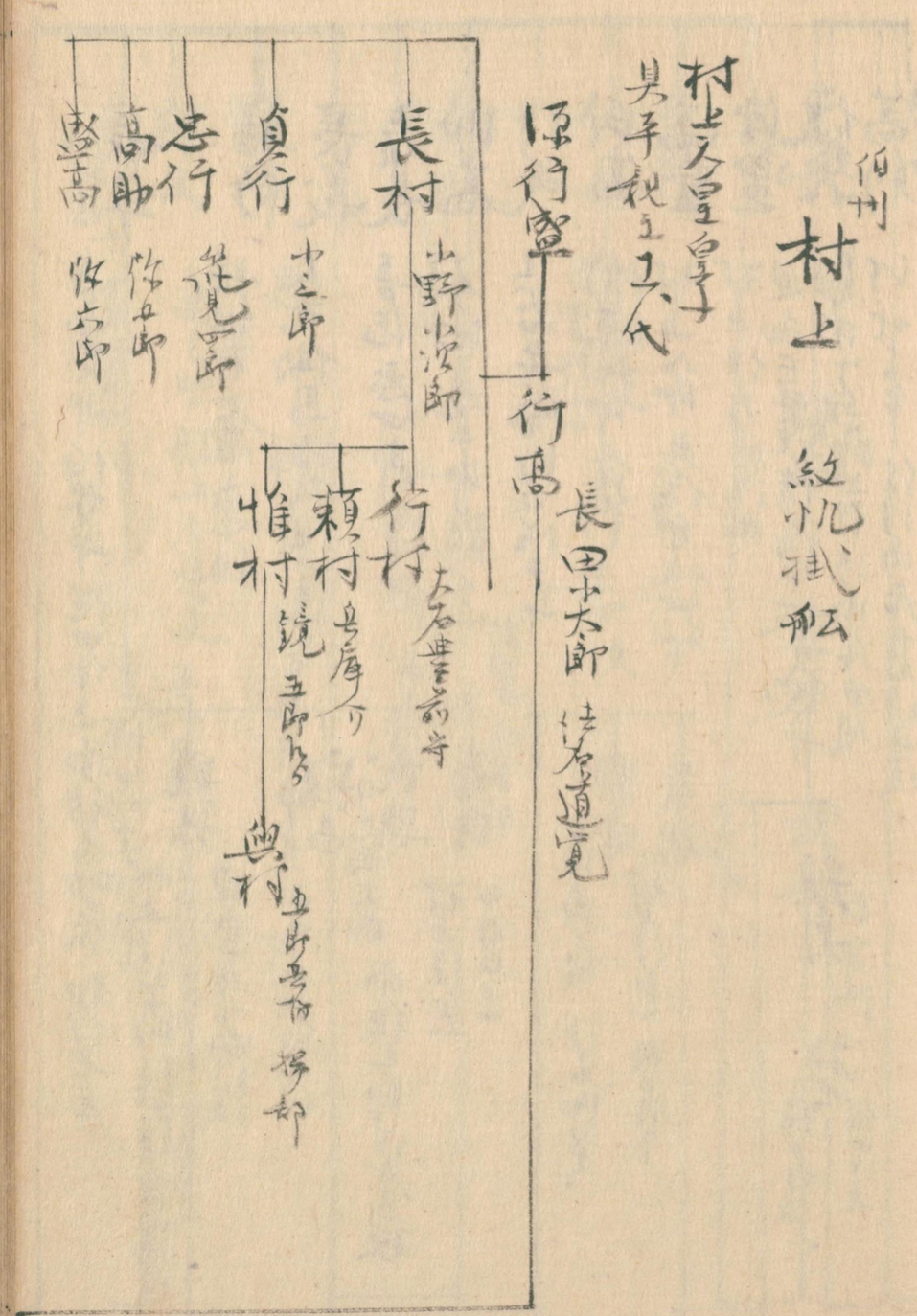
貞固　也右衛門

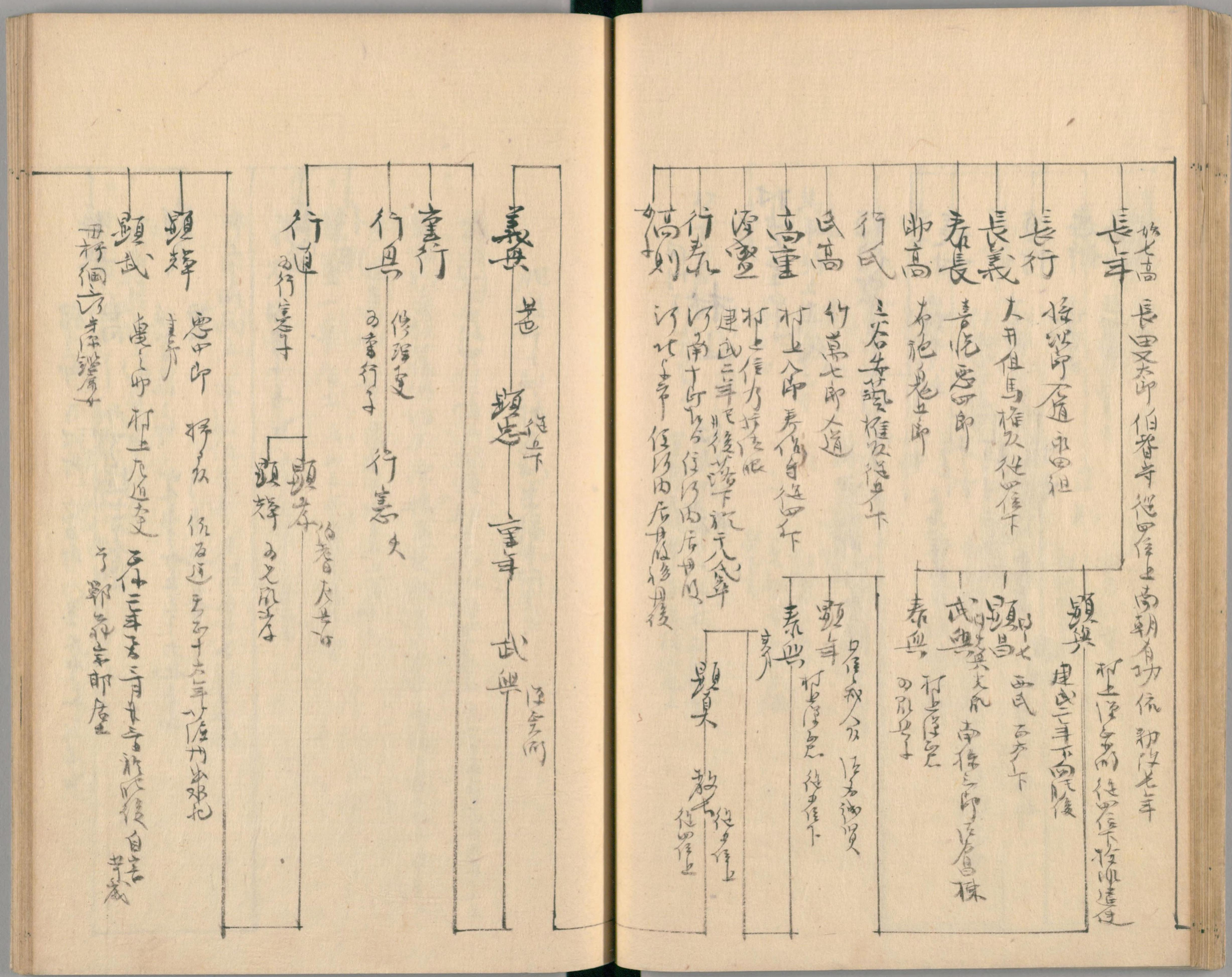
貞秀　也右衛門　貞全　阿加号

実松田一郎左衛門長世三男

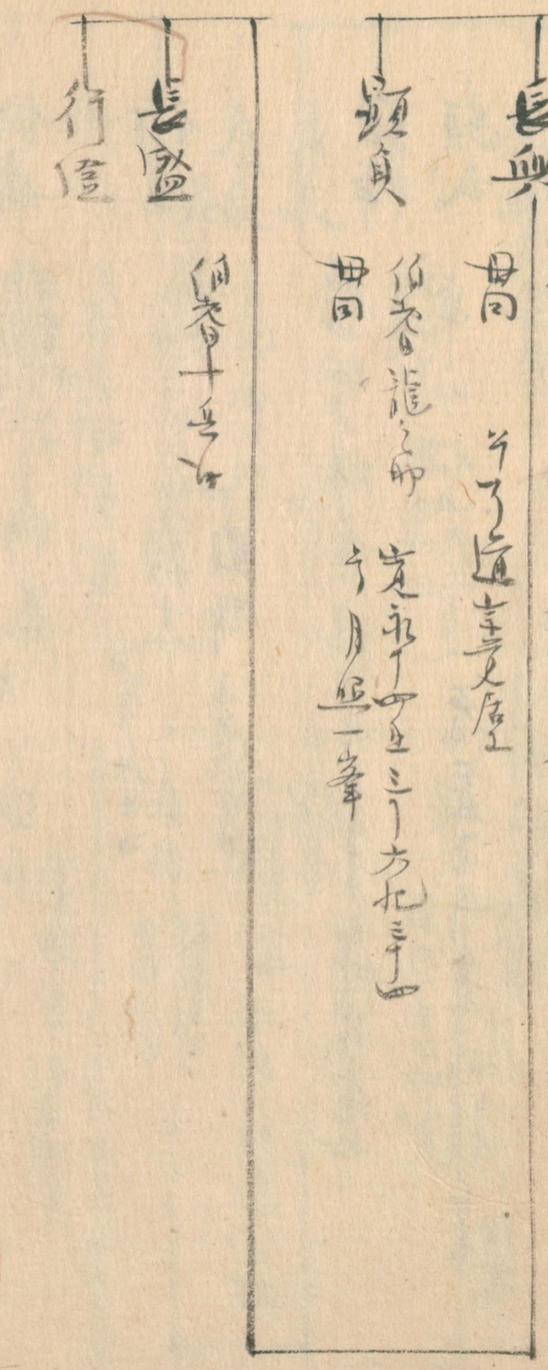
文政八百石一歳


正則
正信
正直
正重


村上
長村
行高
行村
頼村
惟村
忠行
高助



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用



肥後守土郎橘原邑宗福寺初堂

前伯州大寺住四位下陸奥源朝臣大仙紹宗義立 天文十五年丙午有之

前伯州大寺住四位下陸奥源朝臣法興道宗度 永禄五年壬戌三月十日

月照寺心月常 元亀元年庚午三月廿日

無学一草居士 文亀三年癸亥十月廿三日

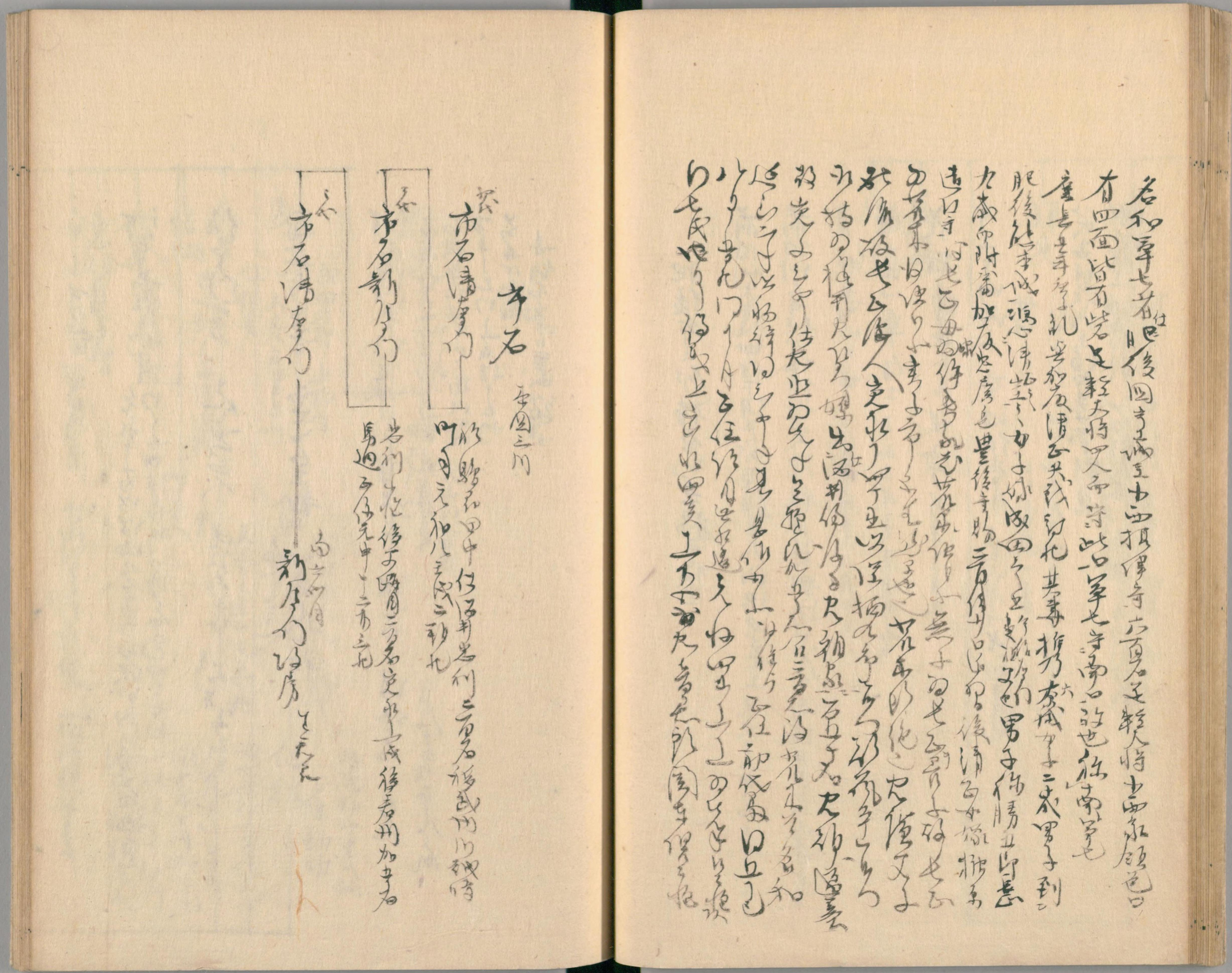
花林宗多 天文十年辛丑九月

宇土守四郎 本山伯耆守 名和伯耆守 [illegible]

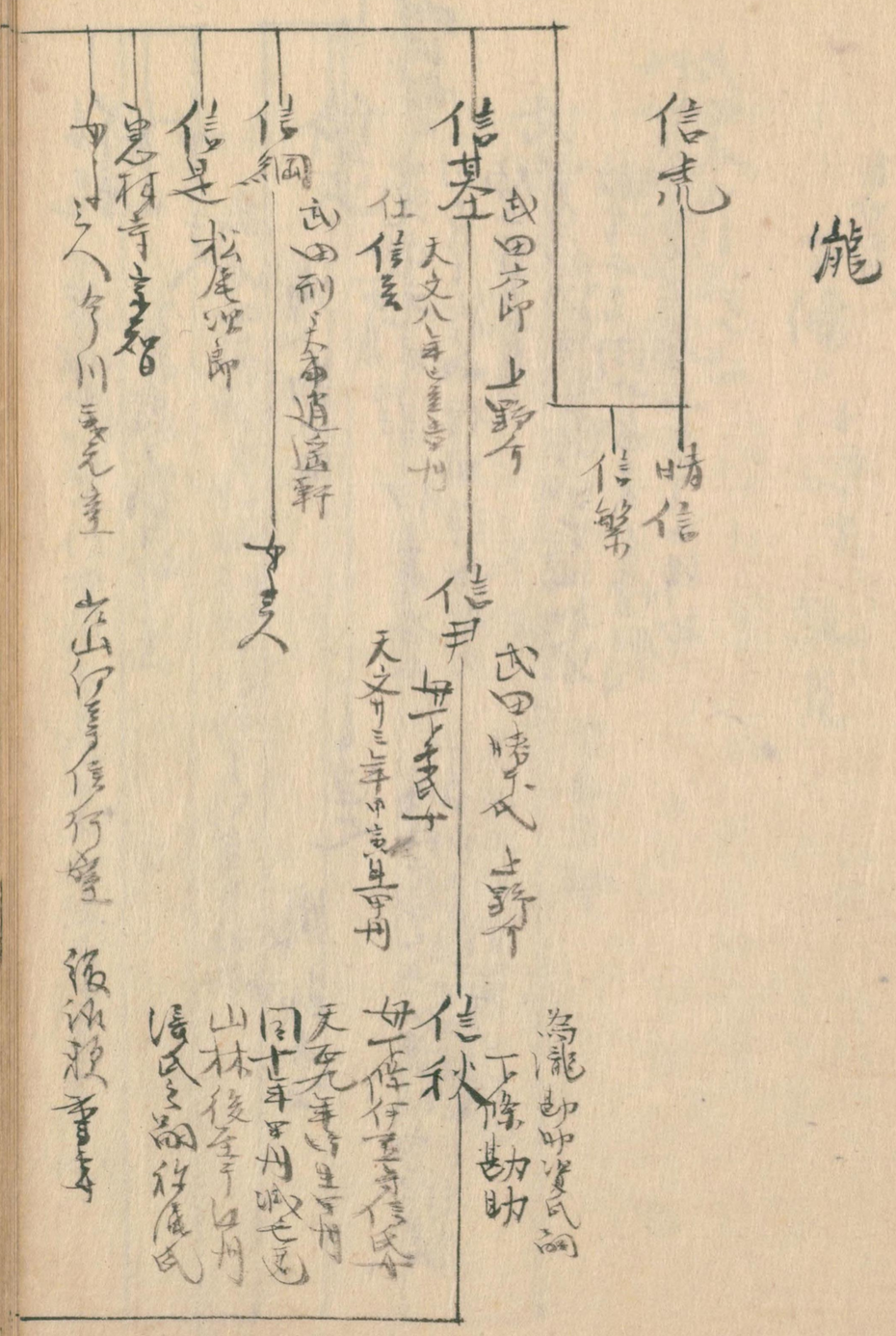
[illegible]

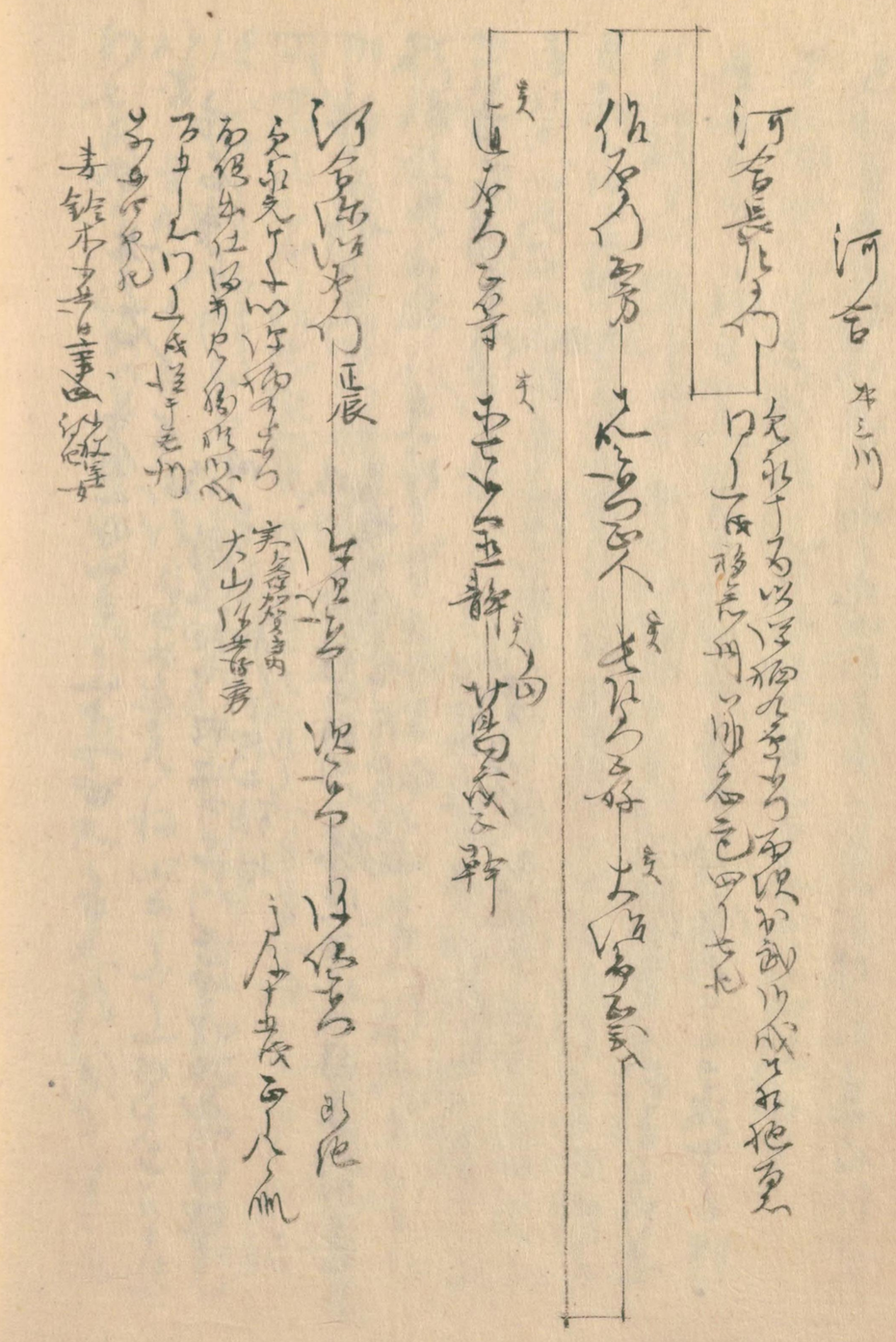
[illegible]

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用


信虎
晴信
信繁
信基
武田六郎 上野介
天文八年
信綱
武田刑部大輔 道遠軒
信是
松尾弾正
忠村寺主殿
信秋
武田晴信 上野介
信尹
天文十三年
信秋
為滝助四郎氏綱
下條勘助



信龍　一条家人

女子　信濃川大納言晴光室

女子三人

信直　瀧助兵衛

女子　寛永四年[illegible]　伊達寺住

[illegible]後回須城[illegible]内

炒三百五十石

寛永元年[illegible]移城前回加恩

敦合千石同廿年[illegible]歴代

加合千石寛永二年[illegible]

道之　瀧助兵衛

寛永二年[illegible]遺孫内六百石

[illegible]

清和源氏

下條　本国甲斐　紋菱

武田太郎信義八世

刑部大輔信成男

武春　下条五郎　居下条

信継　下条六郎

実武田信春四男而嗣也

下条相続為武田安芸寺信濃

信久　下条

子孫海

為武田安芸寺信濃守部大輔信重伊豆寺信寺

信元　下条兵部大輔

為武田刑部大信重伊豆寺信寺太郎信昌陸奥寺信綱

信年　下条兵庫助
備前国隆景寺信綱尺寸寺信虎

信冬　下条兵部丞
備信虎信玄

信氏　下条伊豆守
備信玄時賜
信州伊奈城

信昌　下条兵庫助
仕時賜江戸
牛千代　幸孫
下野居城也

女子　武田上野介信孝妻

信秋　下条助助
武田上野介信孝子

三光

任百濟国兄時兄弟尽之策船未備前国干時
垂仁天皇三年三月也之種之寶殿干朝廷
旗幟皆兄字改名紋曰其地干兄島

新羅王子　名天日拝命
但馬国出石住也

但馬諸助命　麻柏熊
母前津見女

但馬日猫拝命

清彦命

垂仁帝八十八年秋七月己酉朔癸丑新羅王子天日槍初來
之時持來寶物今有但馬尤為国人見貴則為神宝也朕欲見其宝物
即曰遣使者詔天日槍之曾孫清彦而令於献也清彦初乃自捧
神寶献之　羽太玉一箇足高玉一箇鵜鹿々赤玉一箇曰鏡一面
熊神籬一具唯有小刀長紀吹之也

田道間守命

注目人彦五十狹芽天皇九十年二月智為勅使至常世国
同九十九年七月朔日天皇崩明年三月田道間守帰朝
注悲歎之曰受命天朝遠往絶域万里蹈浪遥度水至常世国
天皇既崩不得復命臣生何益矣向天皇陵叫哭而
自死之群臣聞皆流涙也

但馬守

為之地地連有度名諸県
風土記守備前之縣郡也

郡主命 ― 縣司 ― 主大領

子孫下児輪宝
役也

嶋主

郷守

此間数代異之正岳智士祖田倉庄介在 朝廷或為武士
或補神官代々在備州児島又移但州岩血脈不絶
源平合戦始事 初命宝屋平家後應諸冠者能教
認命為源氏士肥沢邸寺仕奉自鎌本領

重能

児島矢六郎

能守

児島小太郎 備前守

弘安年中合戦時之賊之分捕首
刀之賞仕備後守

能長

和田備後守

享保元年二月九日上洛時月吉

能秀

児島大文

能光

能秀今不奉

能仲 次郎

能氏 和田中郎

能氏 和田中郎

紀常

中男

印

田道間守命

注目人彦五十狹芽大皇九十年二月智為勅使至常世国
同九十九年七月朔日大皇狹山明宮崩明年三月田道間守帰来復命
泣悲歎之曰受命入朝遠往絶域万里蹈浪遥度水至常世国
大皇既崩不得復命臣生之亦何益矣向大皇陵叫哭而
自死之群臣聞皆流涙也

但馬守守

仲彦命 [illegible] 但馬守備前之縣郡也

郡主命 — 縣司 — 主大領

嶋主

此間数代略之正岳智上祖田倉庄在 朝廷或為武士
或補神官代々在備州児島又移但州岩血脈不絶
源平会戦始事 初命児島平家後庭備冠者範頼
詔命為源氏上肥州寄事 [illegible] 拳自鎌本領

郷守

重範

児島六十番

範守 児島小太郎 備前守

弘安年中令時守護職之存之道音
初出貴任備後守

田倉後守

範長 和田備後守 享氏之自九代上治時自右
[illegible] 和田[illegible]

範秀 児島大夫 [illegible]

範光 [illegible]

範秀 [illegible]

範仲 [illegible]

[illegible] 中山[illegible]

[illegible] 中山[illegible]

[illegible] 中山[

高勝 太郎 早世

高久 今市郎 之宅 吳島之郎

高徳 應安年之傳前赤干伊勢後赤之州加賀民郡領南保下伊保 保土徳原

高秀 之宅太郎 住號花後下傳前

高蒙 中郎 左衛門尉 信濃 之法里住寺

久蒙 九馬允

能蒙 和泉寺 法名法仲常彩居士

高澄 島児郎

高貞 之宅之郎 又子島児之郎 姫路吳島之宅

良覚 大林寺僧

元貞 之宅之郎 出家

貞吉 六郎 住寺 四郎 出家

貞宣 加賀寺

清宣 加賀寺 之介加賀郎 上毒保城主 明應三年十月死

清貞 周防寺 住下伊保 伊保梅坪沙汰後移同州慶歌

如 清吉 九馬四下河東

吉宣 九馬郎 住比保氏陳沙太四十町氏房

師行 保之允 大文四年之年五月九

某 左衛門 保人 大子三之面死 大文十年筑州出張于之介梅坪寺に於て歿

高勝 太郎 是也

高久 今出郎 之定 兄島之郎

高徳 應安年之備前弟于伊勢後弟之州加賀郎領南保下伊保 保土徒原

高秀 之定太郎 住號花後下備前

高家 中沢郎左衛門尉 信徳 之定佐寺

久家 九島九

能家 和泉寺 吉右左伊常彩左

高澄 島兄沢郎

高貞 之定之郎 又于島兄之郎

好阪兄島之定

良寛 大林寺僧

元貞 之定郎兵衛

貞吉 六郎信濃寺 四郎 出郎

貞宣 加賀寺

清宣 加賀寺 之定加賀郎上伊保城主 明應三年十月死

清貞 周防寺 住下伊保 伊保梅坪沢落後移同州慶歌

如 清吉 九島四郎下河原

吉宣 九島郎 住比保氏味沢太四十町氏房

師行 九郎 文安四年之年五月九

某 是光 保人 于三文四年死

沢文十年能州出仕于之在梅坪寺作蓮

道

改頁 藤原氏

氏家物

永福元年[illegible]後 大神宮大[illegible]十世孫[illegible]
[illegible]元年[illegible]十[illegible]宮定宗本

康貞 物部氏

母[illegible]居伊賀寺女

永福元年[illegible]於[illegible]州[illegible]住 神宮[illegible]
[illegible]城時[illegible]野一族[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

文永三年[illegible]高麗後[illegible]
[illegible]後[illegible]城後[illegible]
城後寺仁[illegible]

[illegible]

[illegible]

康信 城後寺

[illegible]
[illegible]
[illegible]

道

改頁 [illegible]

氏家忠

永福元年[illegible]　大神宮十世孫[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

道

政貞 [illegible]

氏家伯

永福元年[illegible]　大神宮大石十世孫[illegible]
法名[illegible]元年七十[illegible]　[illegible]定宗本

[illegible]貞 物[illegible]

丹島居伊賀寺女

永福元年[illegible]州[illegible]住　神宮[illegible]同十年[illegible]月[illegible]川氏[illegible]
[illegible]城時[illegible]野[illegible]後[illegible]野[illegible]尾張[illegible]　神宮[illegible]
[illegible]師[illegible][illegible][illegible][illegible]同[illegible]
[illegible]命[illegible]掛川[illegible]野[illegible]同[illegible]送[illegible]時[illegible]高橋元宗[illegible]
[illegible]後[illegible]川後[illegible]後[illegible]高[illegible]神[illegible]鳥居[illegible]同[illegible]
[illegible]十[illegible]州黒[illegible]水野[illegible]鳥居[illegible]
長[illegible]後[illegible]住[illegible]後[illegible]
[illegible]州[illegible]同[illegible]九[illegible]後[illegible]

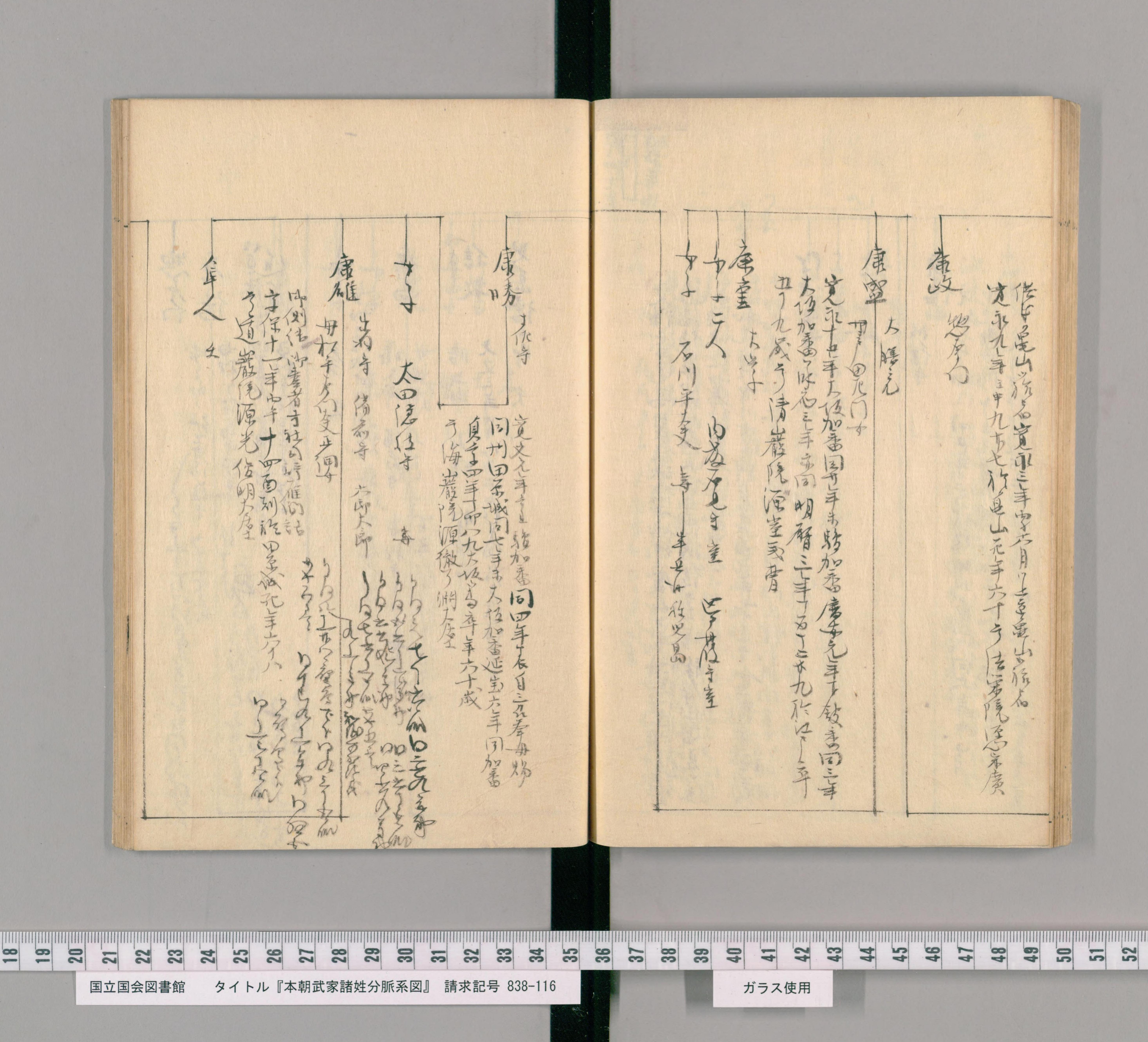
[illegible]時[illegible]
[illegible]
[illegible]

文[illegible]高[illegible]後[illegible]後[illegible]
[illegible]後[illegible]長[illegible]同[illegible]後[illegible]州[illegible]賀
[illegible]後[illegible]後[illegible]後[illegible]後[illegible]
[illegible]仁[illegible]住[illegible]
元和元年[illegible]十[illegible]
同[illegible]

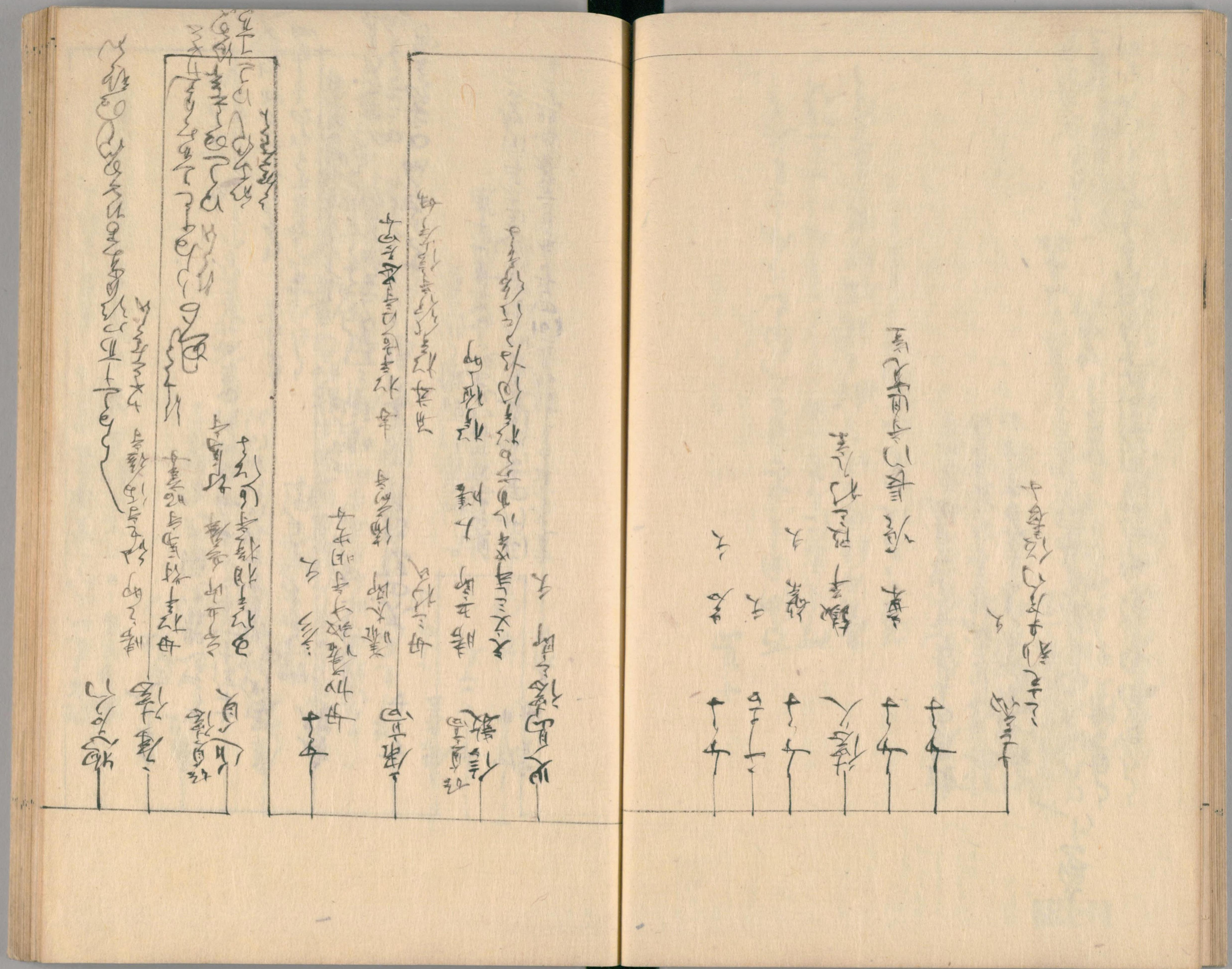
[illegible]
[illegible]
[illegible]九[illegible]

康信　城信寺

元和元年[illegible]州[illegible]城同六年中[illegible]月
[illegible]内[illegible]城[illegible]土[illegible]同[illegible]
[illegible]井[illegible]以下[illegible]同九年[illegible]五月[illegible]


康政
康空
康秀
康雄
太田信仕

国立国会図書館　ダイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
がうス使用



十島

百濟國[illegible]兄弟[illegible]人[illegible]

[illegible]十二[illegible]

[illegible]流之[illegible]小島[illegible]

新羅[illegible]後亂兄島備後守紀守

[illegible]年中異賊襲来[illegible]日本此時

[illegible]織首以和備後守紀守[illegible]和田

備後守紀長之男

高德　兄島備後守

[illegible]年中出備前國来伊勢[illegible]移[illegible]加茂郡

十島

百濟四〻〻児兄弟二人倭系図人脈

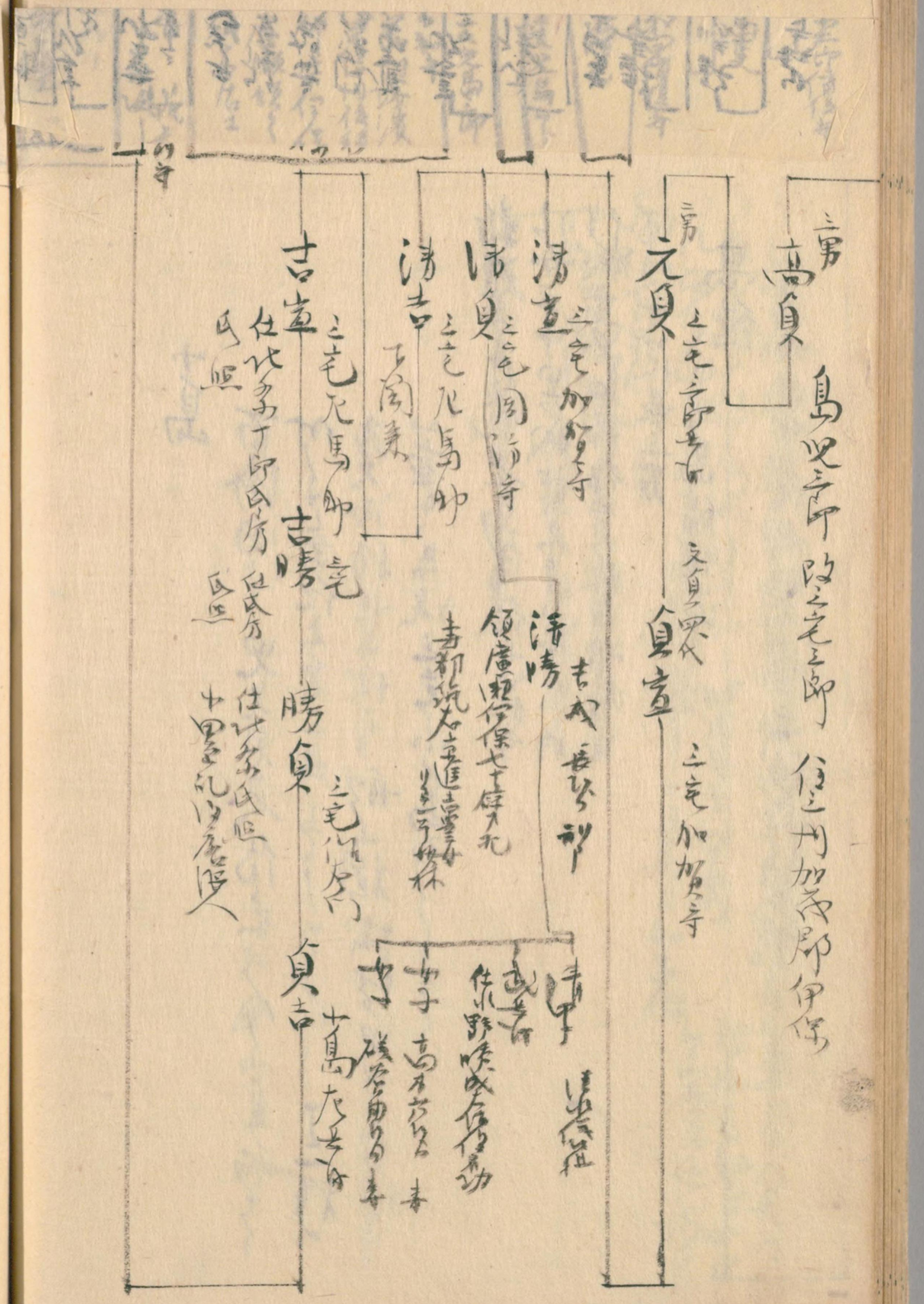
[illegible]

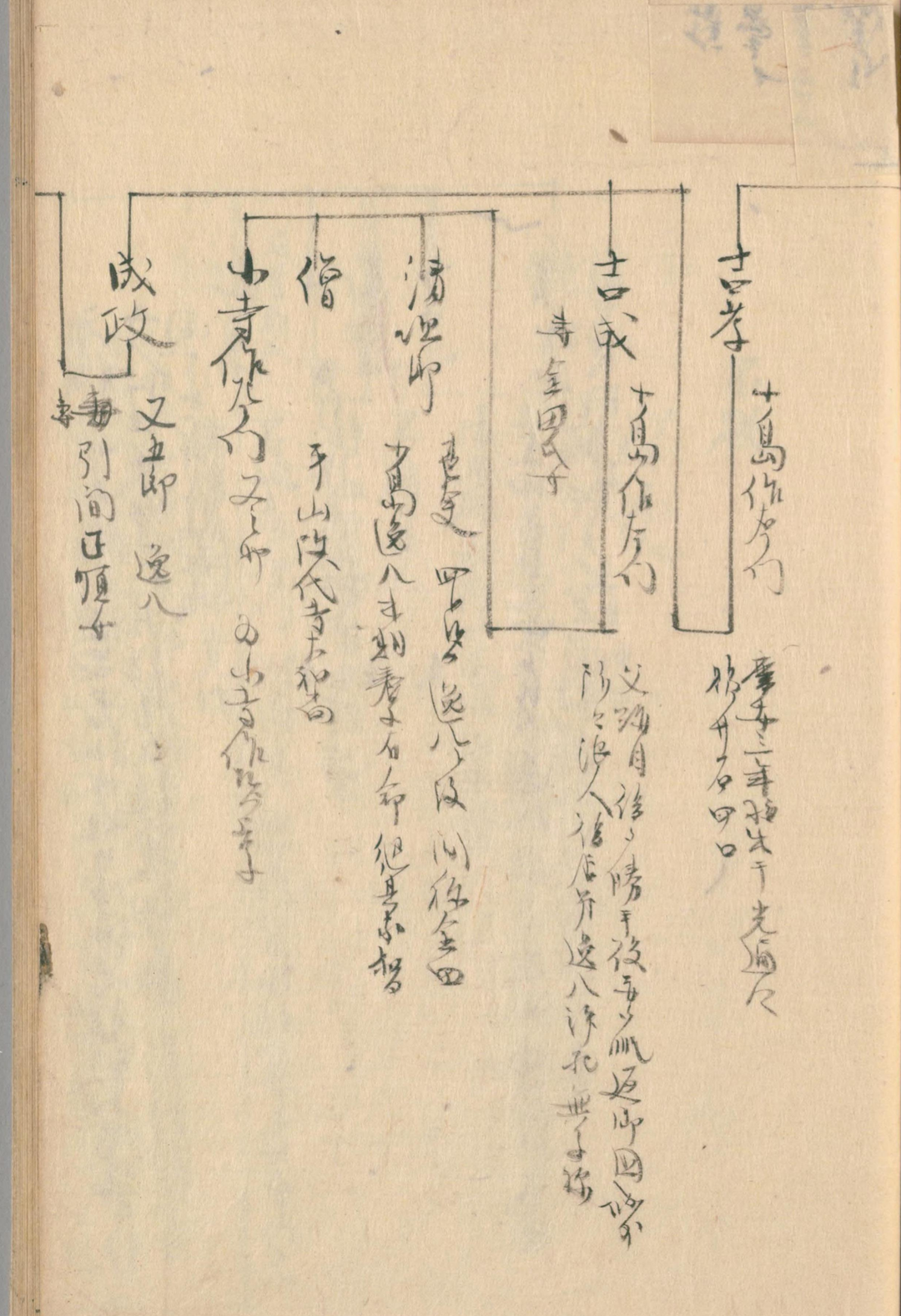
[illegible]

新羅之子孫乱児島備後守紀守
仁安元年中異賊襲来日本此時
後嵯峨以和備後守紀守後和田
備後守紀長之男

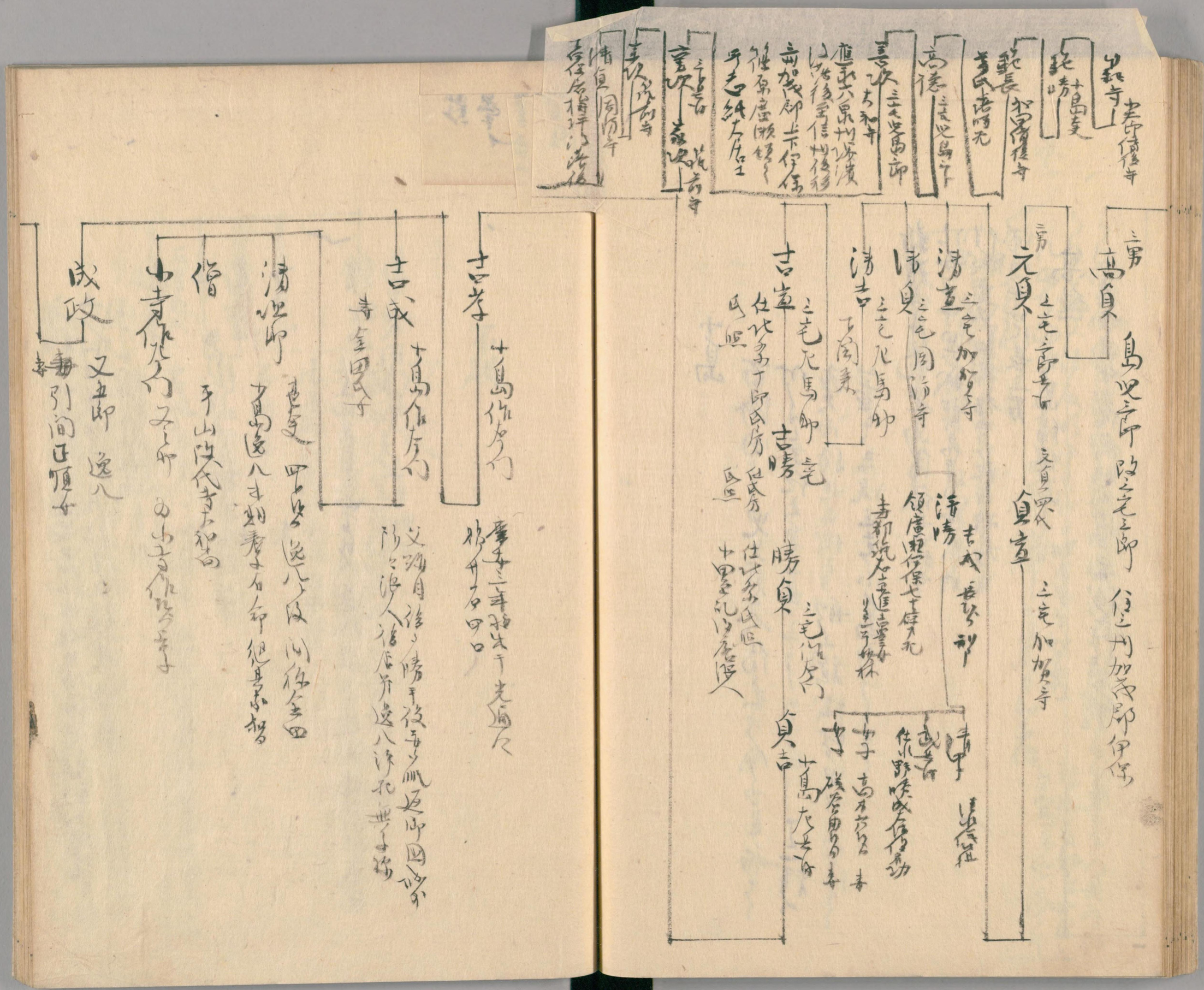
高德　児島備後守

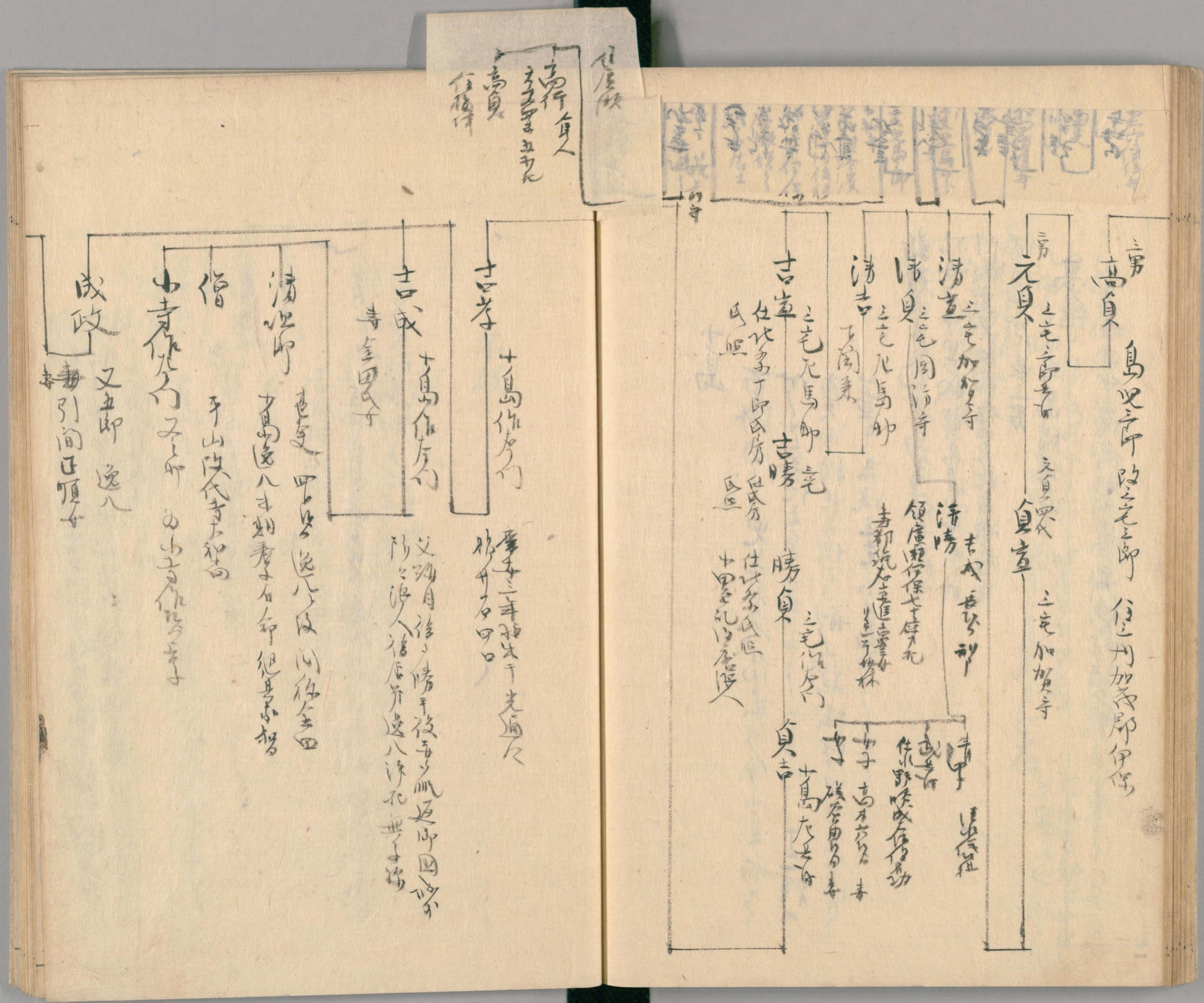
[illegible]年中備前国来伊勢国移[illegible]加茂郡



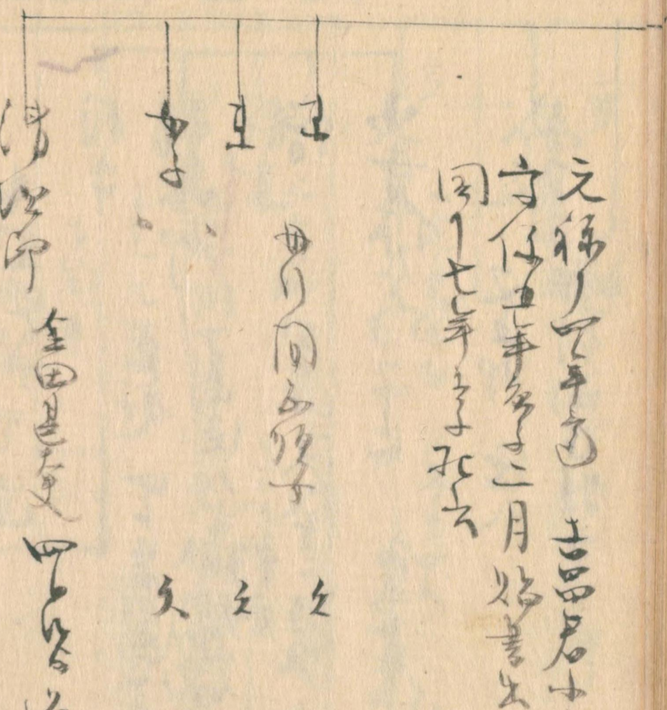


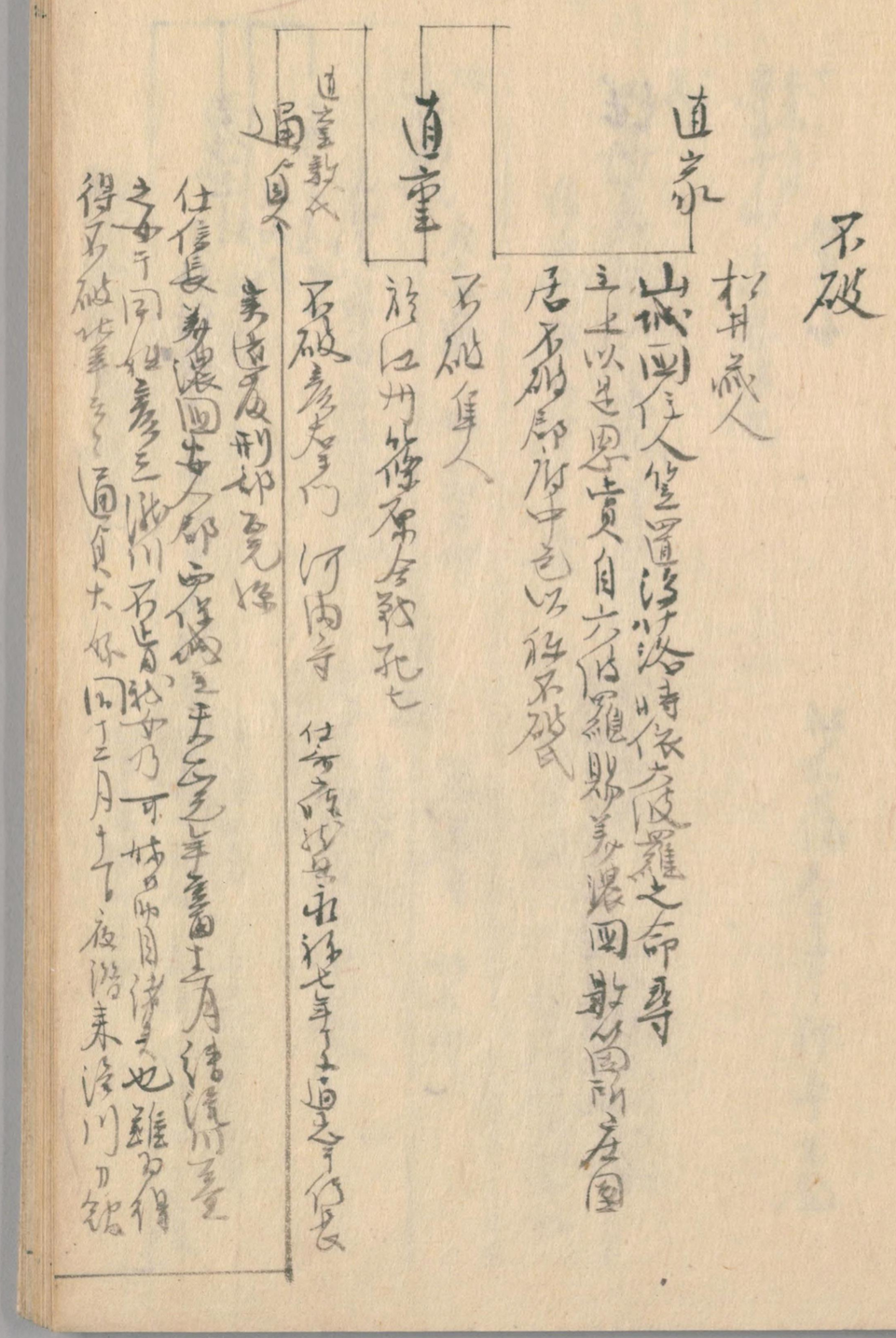
国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

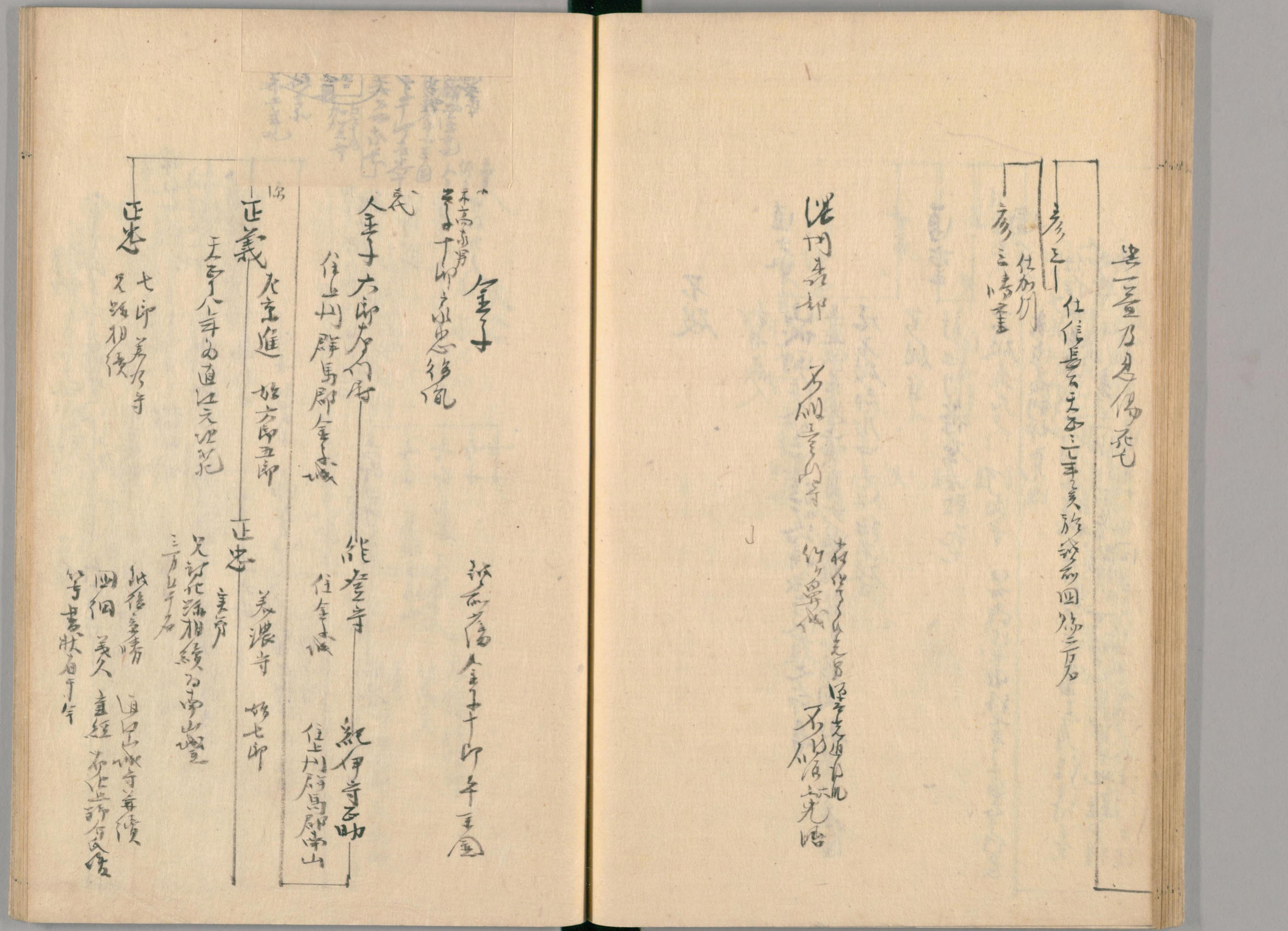

高貞
元貞
貞宣
貞吉
貞吉
貞吉

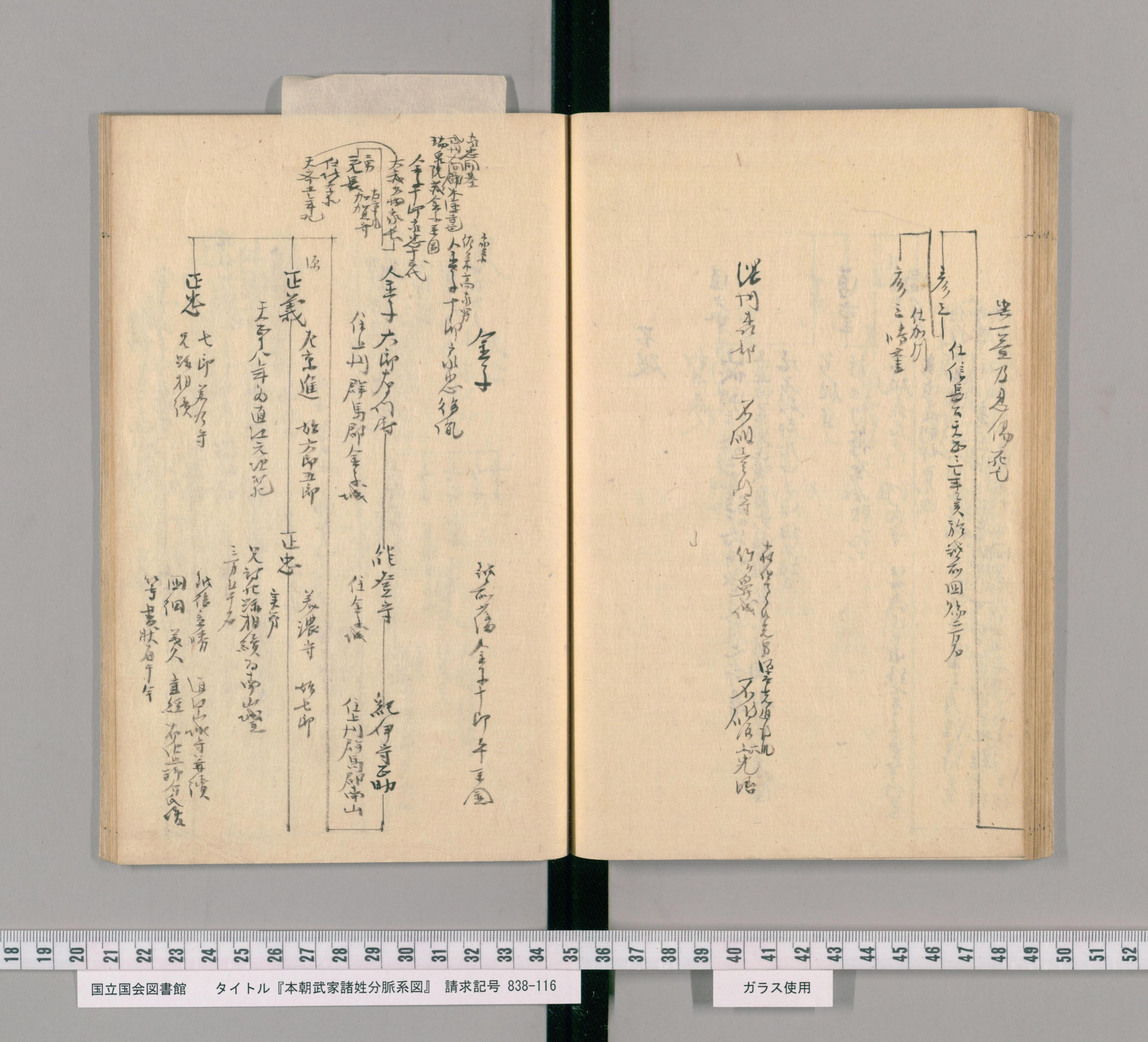


国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

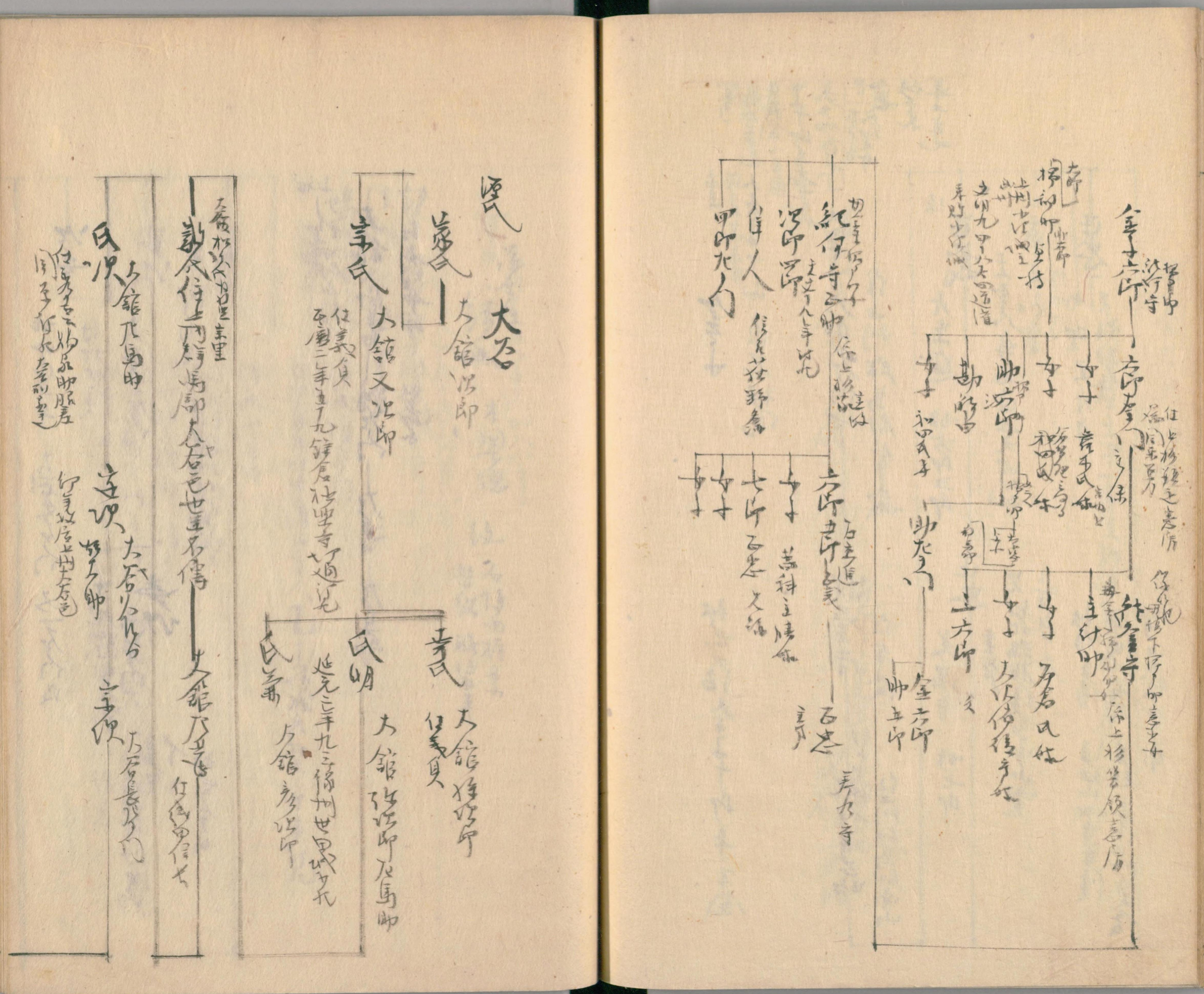


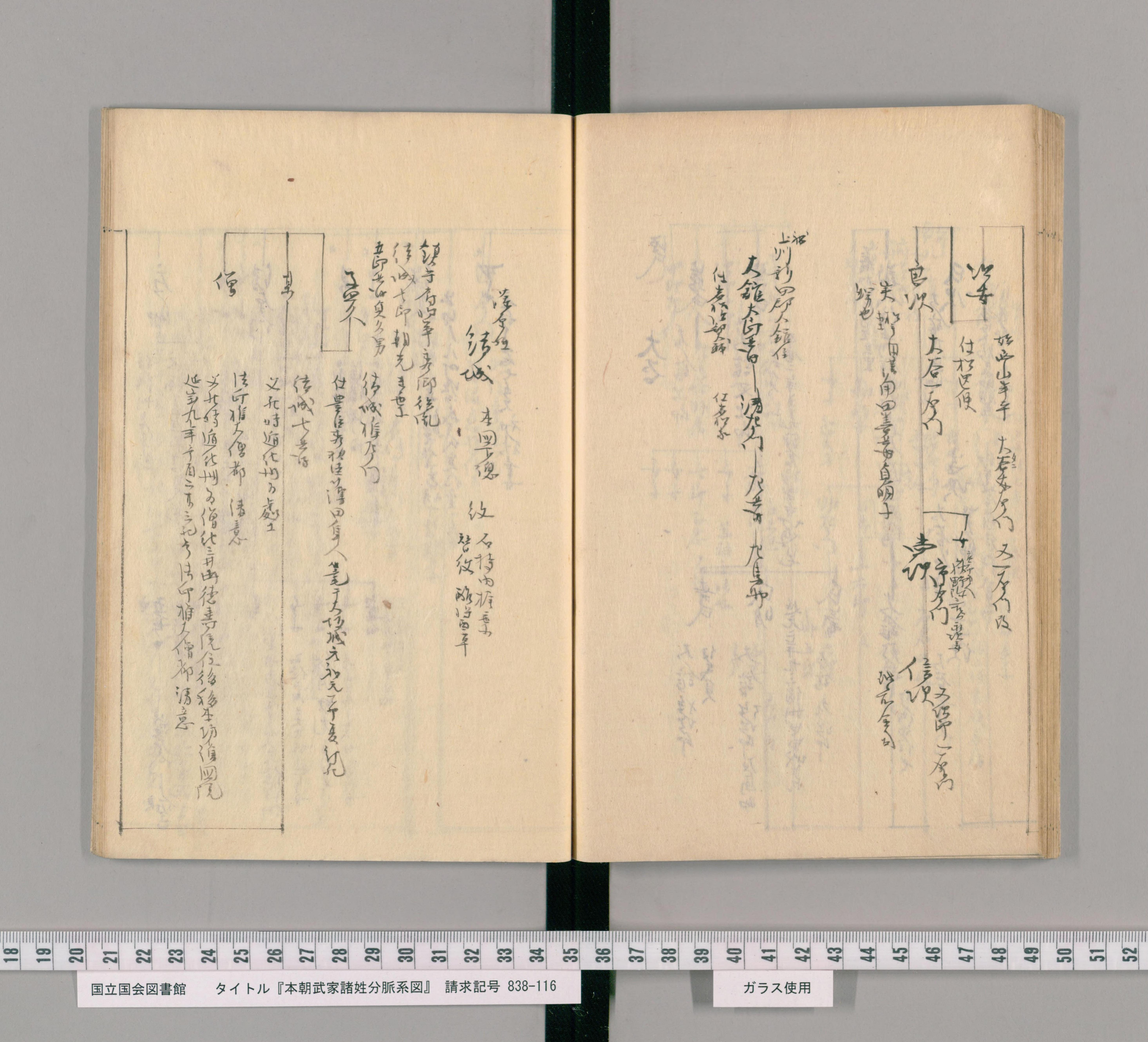






国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用


大石
大館治部
義氏
大館又治部
義氏
大館治部
義氏
大館左馬助
義氏
大館左馬助
義氏
大館治部
義氏
大館左馬助
義氏
大館治部
義氏
大館左馬助
義氏
大館左馬助
義氏
大館治部
義氏
大館左馬助
義氏
大館治部
義氏
大館左馬助
義氏
大館治部



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
がうス使用

物部姓

蟹江　本国尾張　紋　内右生

稲生右衛七

某　生伊勢

仕蒲冨大納言時頼卿

某　稲生善左衛門　内蟹江刑部

生伊勢

仕蒲冨中納言貞敬

天正四年三月移于尾州蟹江住

織田内府信雄

國時　蟹江次郎善刑部左衛門

生伊勢

正氏　稲生七郎

生伊勢　稲生祖

仕蒲冨大納言時頼卿

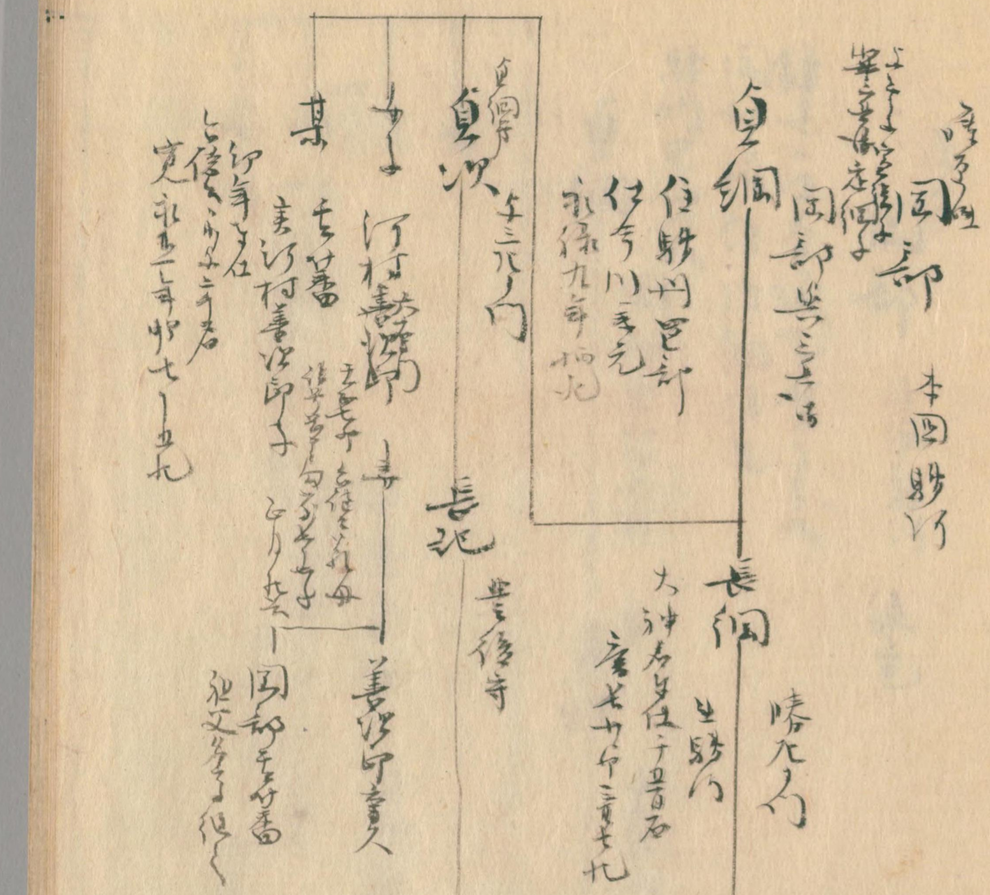
某　蟹江善十郎　善吉

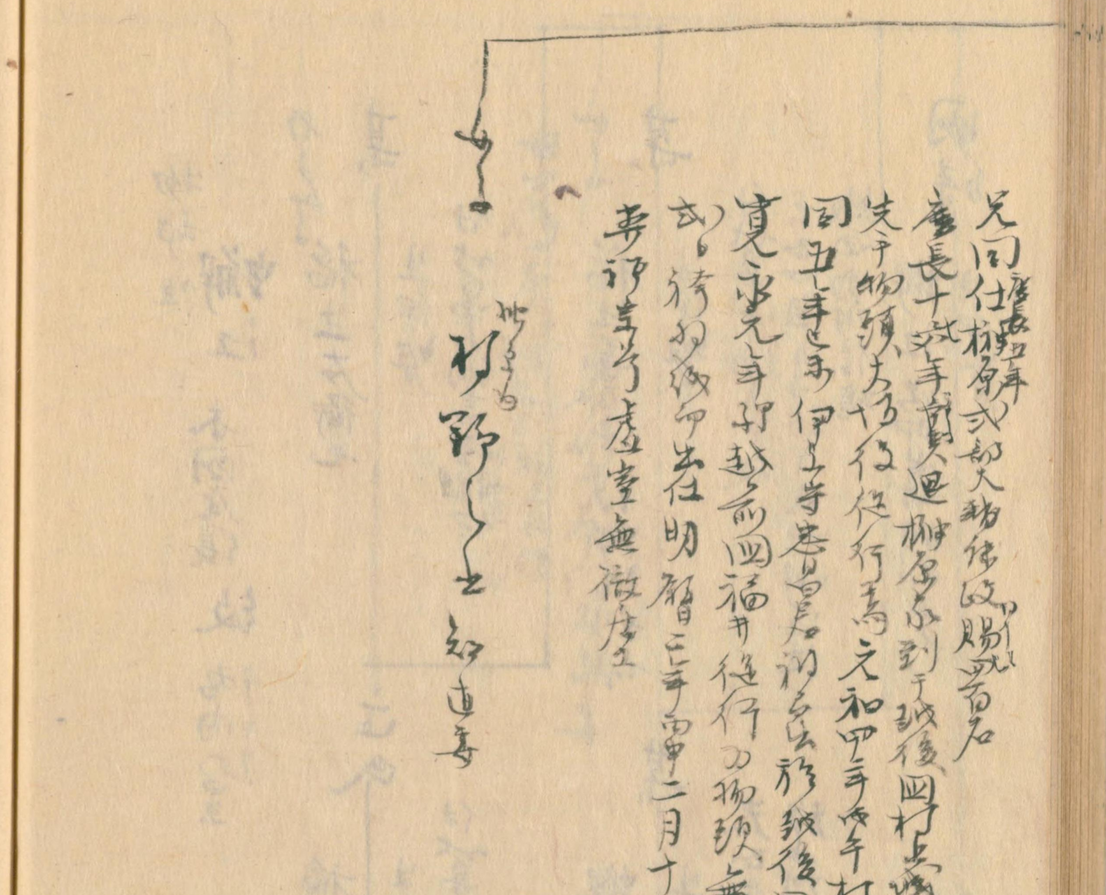
生伊勢

天正十年三月仕柳原弁和尚

於尾州鎧林殿食邑

善左衛門　善高祖





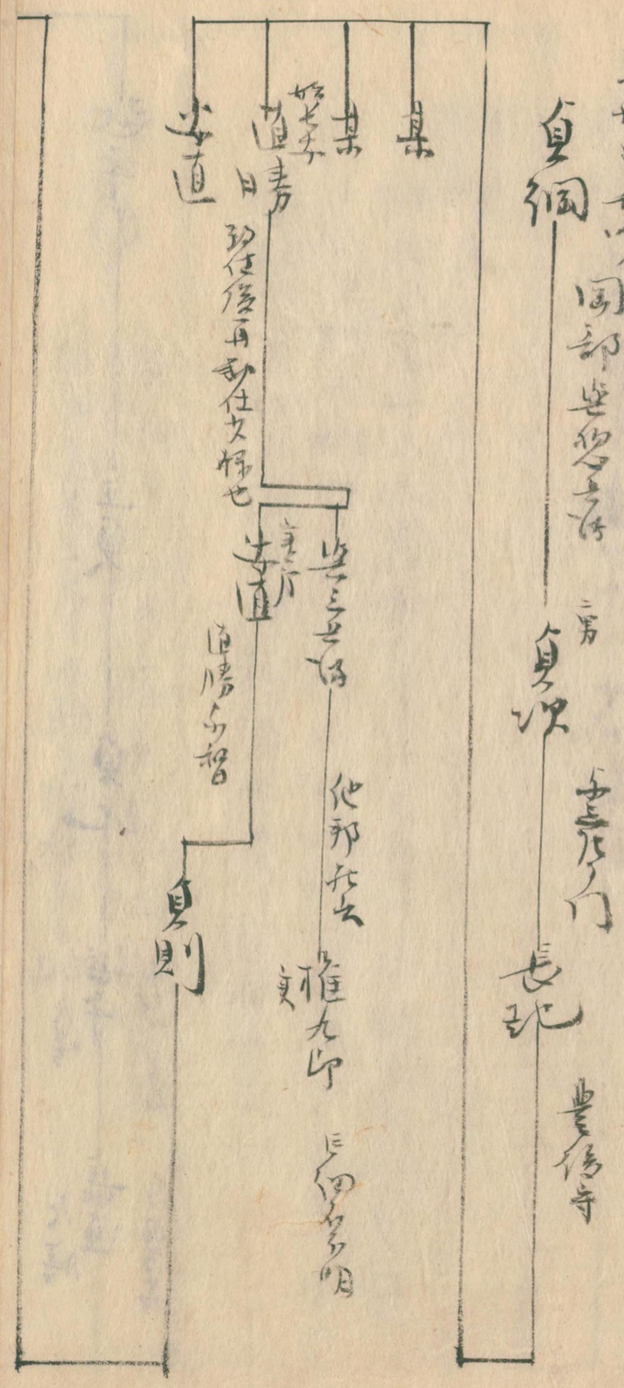
国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

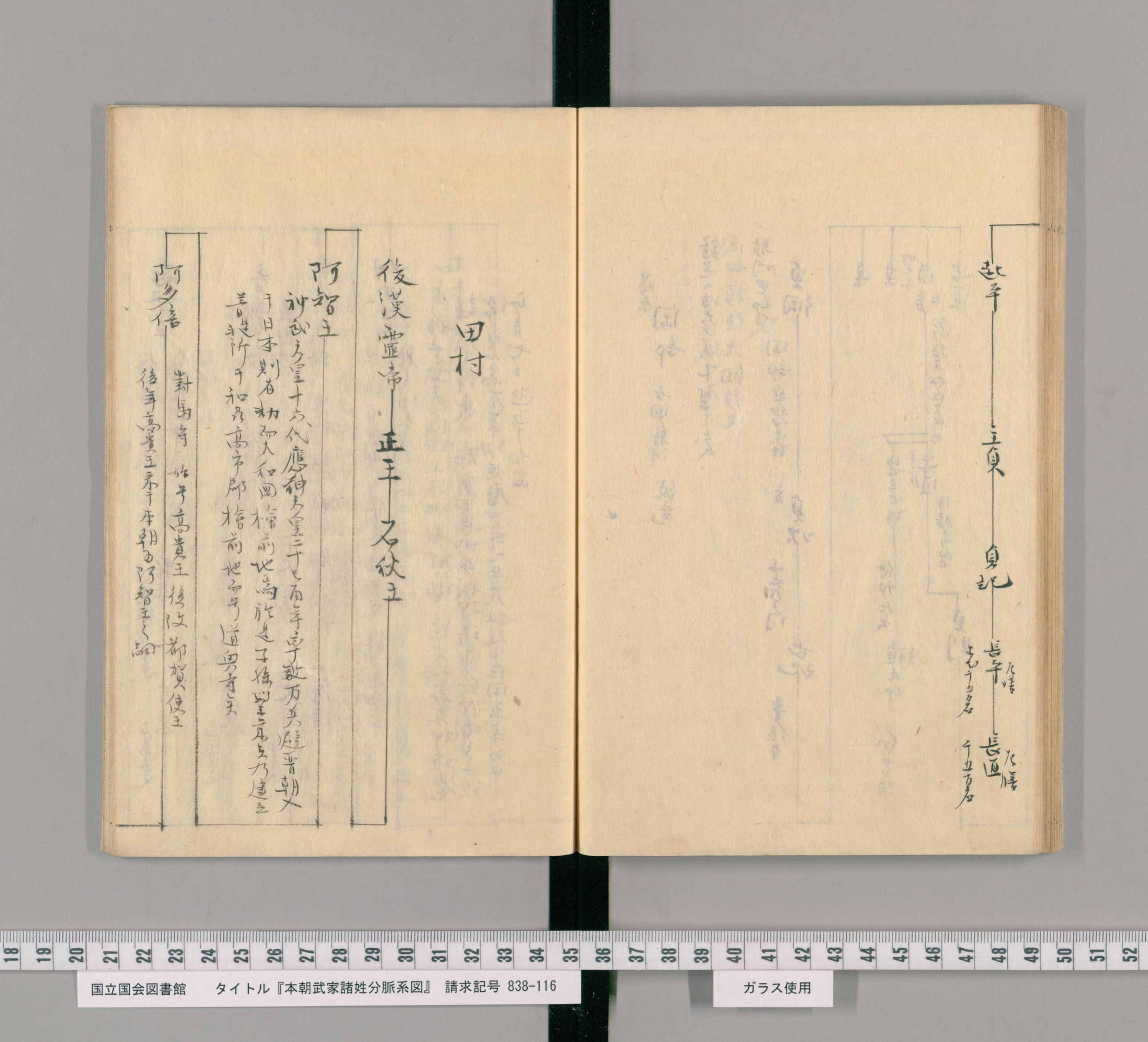
藤原

國部

本四駿河 級言



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

忠好 従三位参議 自和泉守遷丹後国守 始修之位

駒子 正三位中納言 弓束 右京大夫

首名 正六位 孝忠 右近衛少将

春宵 太宰大弐 対馬守 遷肥後守 始大弐 任張本光国 右衛門尉

大国 宮内少輔

大耳 正五位下

武奈 大諸 宣根 紹平 雲達 春子 全盛 春夏

康頼 正六位 出羽奥州

川田麿 従三位 丹後守 左京大夫 陸奥守 鎮守府将軍 始丹後国

子孫 正六位下 為財蘭之遣者故惠友抑勝定 謀叛之時来 勅下向奥州而戦抑勝遁財抑勝之次 麿為有軍功延暦四年乙丑三月九叙従三位同五年丙申 七月遷正二位九歳

田村麿 正三位 兵部卿 鎮守府将軍 征夷大将軍 始従三位

延暦十四乙亥年奥羽両州之安倍高麿宇敵万呉兄弟故上 宣旨 于清見関而頻殺焉天聴故田村麿宣旨 駆向于清見関而接戦高麿遁于奥州而固十六丁巳年 田村麿立 勅下向于奥州而陸于仙道 立山鴻野而屯 全戦遂全夷賊後伐夫仏仁二年庚午年五月三 発平四年癸酉州 屯栖御

身丈 五尺八寸 胸厚 二尺寸 膂力端人 武器達者

子 子金子 叙従四位下 桓武天皇八皇子 葛井親王也

廣野 右兵衛尉

女子 左位 [illegible]

當道 左衛門尉

當常 右兵衛

妻 [illegible] 加賀守

是則 右兵衛

加賀寺 望城 [illegible]寺

淨野 右馬允 四位下 拂妻建仁寺

田村碧海郡奥州時有妻的京後生一男子号母親歸也於是妻民然御民具女以有孤兒思不審指往奥州冬室田德子時死永

兩鶴而帆幸子於泉峯而兩鶴育之或時狩人到泉峯而問幸之戶分石嶺尋之兩鶴乃避飛狩人得幸子而歸於是世人知為田村碧海郡子御民撫育之乃長子鶴丸

平城帝御宇上洛而号淨野蒙勅任類藏筑紫城千仙道郎為祝之春

内野 田村左衛尉 [illegible]

顯廣 陸奥守 号田侯

志摩 左衛尉

顯石 左衛門

平顯 [illegible]

右顯 左位寺

忠顯 [illegible]

吉顯 [illegible]

家顯 [illegible]寺

寅顯 [illegible]

衡顯 [illegible]寺

朝顯 [illegible]寺

行宗 [illegible]

兼顯 右衛尉

政顯 [illegible]

則顯 右兵衛尉

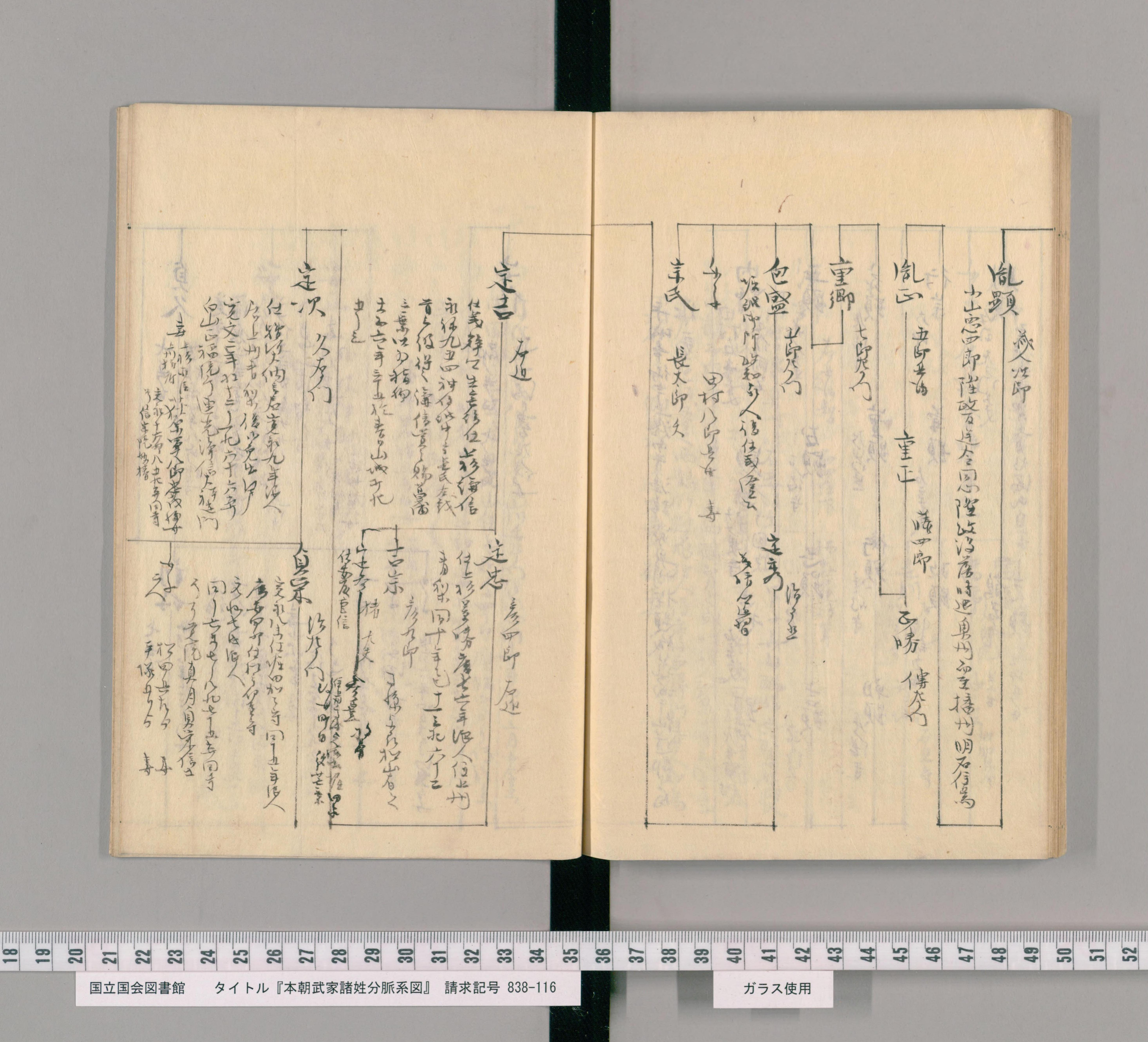
鶴丸 [illegible]

光顯 [illegible]寺

至德二年四月七日淨氏自害

国立国会図書館 タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

貞久

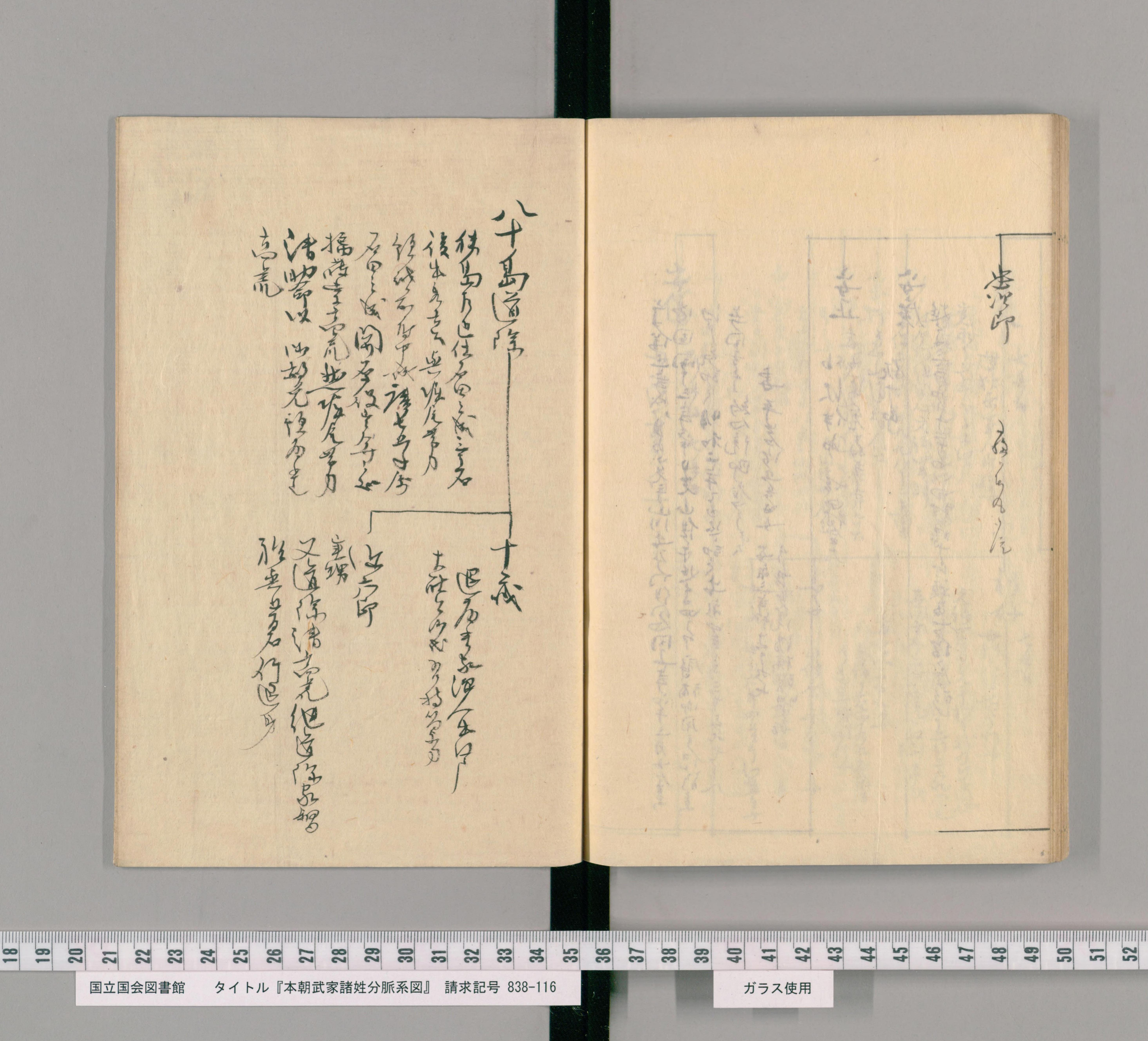
安信

安正

安廣

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116
ガラス使用

838
297
116

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』　請求記号 838-116

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『本朝武家諸姓分脈系図』 請求記号 838-116

ガラス使用